

計画期間中における点検の実施状況等

点検計画 目次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/45
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/45
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	
[燃料取替用水設備]	
原子炉冷却系統施設	4/45
[一次冷却材の循環設備]	
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備]	
[非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[原子炉補機冷却設備]	
[原子炉補機冷却海水設備]	
[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	
[蒸気タービンの附属設備]	
計測制御系統施設	19/45
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	23/45
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
放射線管理施設	24/45
[放射線管理用計測装置]	
[換気設備]	
原子炉格納施設	30/45
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備]	
原子力設備	35/45
[その他設備]	
原子力設備・タービン設備	35/45
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
蒸気タービン	36/45
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	
[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換器]	
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
その他発電用原子炉の附属施設	41/45
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
[常用電源設備]	
[火災防護設備]	
[浸水防護施設]	
土木建築設備	45/45
プラント総合	45/45
全般機器	45/45

別紙ー1: クラス1機器供用期間中検査10年計画

別紙ー2: クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙ー3: クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙ー4: クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査10年計画

別紙ー5: クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画

別紙ー6: 原子炉格納容器供用期間中検査10年計画

別紙ー7: 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙ー8: 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

・点検計画

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術) ※：炉心設計による ※：炉心設計による ※：炉心設計による
原子炉本体 〔炉心〕	照射済燃料集合体	※ 1式	高	1F	○	15回	燃料集合体外観検査	
	照射済燃料集合体 (取出燃料)	※ 1式	高	1F	○	15回		
	燃料集合体	193体	高	1F	○	15回	燃料集合体炉内配置検査	
	内挿物 ・制御棒クラスタ ・バーナブルボイズン ・シンブルプラグアセンブリ ・2次中性子源	※ 1式	高	1F	○	15回	燃料集合体炉内配置検査	
	原子炉本体のうち炉心							
	原子炉容器		高	1F	○	15回	原子炉停止余裕検査	施設定検起動後
	原子炉容器 (制御棒クラスタ案内管支持ピンおよび水位計支持管用支持ピン)		高	1F	○	15回	炉物理検査	
	116箇所		高	13M	○	15回		
	1台		高	3F	—	15回	構造健全性検査	
	燃料移送装置		高	1F	○	15回	燃料取扱装置機能検査	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕			高	1F	○	15回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	
			高	26M	—	15回		
	燃料取扱替クレーン	1台	高	1F	○	15回	燃料取扱装置機能検査	
			高	1F	○	15回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	
			高	26M	—	15回		
	使用済燃料ピットクレーン	1台	高	1F	○	15回	燃料取扱装置機能検査	
			高	1F	○	15回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施
			高	26M	○	15回		
	新燃料エレベータ	1台	高	1F	○	15回	燃料取扱設備検査	先行実施
			高	1F	○	15回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	
補助建屋クレーン			高	26M	—	15回		
			高	1F	○	15回	燃料取扱設備検査	先行実施
			高	1F	○	15回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	
			高	26M	—	15回		
			高	1F	○	15回	燃料取扱設備検査	先行実施
			高	1F	○	15回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	
			高	26M	—	15回		
			高	1F	○	15回	燃料取扱設備検査	先行実施
			高	1F	○	15回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	
			高	1Y	○	15回		年次点検 プラント運転中又は施設定検停止中
新燃料取扱工具	1台		低	1F	○	15回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術）
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕	使用済燃料取扱工具	1. 外観点検	低	1F	○	15回	燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	先行実施
	燃料反置ラック	1. 外観点検	高	1F	○	15回	燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔燃料取扱設備〕 その他機器	1. 分解点検他	高	13M～130M	○	15回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵設備〕	使用済燃料ビット温度	1. 特性試験	高	13M	○	15回	計測制御系監視機能検査	
	使用済燃料ビット水位	1. 特性試験	高	13M	○	15回	計測制御系監視機能検査	
	可搬式使用済燃料ビット水位	1. 特性試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	15回施設定検時に設置
	使用済燃料ビット温度（AM用）	1. 特性試験	高	13M	○	—	フランスト状態監視設備機能検査	15回施設定検時に設置
	使用済燃料ビット水位（AM用）	1. 特性試験	高	13M	○	—	フランスト状態監視設備機能検査	15回施設定検時に設置
	使用済燃料ビット監視カメラ	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	15回施設定検時に設置
	使用済燃料ビット監視カメラ冷却装置	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	15回施設定検時に設置
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	使用済燃料ビット浄化冷却設備	1. 機能・性能試験 （ポンプ、電動機等含む）	高	1F	○	15回		
	A 使用済燃料ビットポンプ・電動機	1. 分解点検 （ポンプ）	高	91M	—	14回		（振動診断：6 M） 先行実施
		2. 分解点検 （電動機）		78M	—	15回		
		3. 簡易点検 （潤滑油入替 （ポンプ）		26M	○	15回		
	B 使用済燃料ビットポンプ・電動機	1. 分解点検 （ポンプ）	高	91M	—	14回		（振動診断：6 M） 先行実施
		2. 分解点検 （電動機）		78M	—	14回		
		3. 簡易点検 （潤滑油入替 （ポンプ）		26M	—	15回		
	送水車	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	フランスト運転中又は施設定検停止中 15回施設定検時に設置
		2. 外観点検		1Y	○	—		先行実施
		1. 開放点検	高	130M	○	10回		先行実施
	A 使用済燃料ビットフィルタ	1. 開放点検	高	130M	○	8回		先行実施
	B 使用済燃料ビットフィルタ	1. 開放点検	高	195M	—	9回	1次系熱交換器検査	先行実施
	A 使用済燃料ビット冷却器	2. 非破壊試験		195M	—	9回	1次系熱交換器検査	有効性評価 No. 1 の反映
		3. 漏えい試験		195M	—	9回		
		1. 開放点検	高	195M	—	8回	1次系熱交換器検査	先行実施
	B 使用済燃料ビット冷却器	2. 非破壊試験		195M	—	8回	1次系熱交換器検査	有効性評価 No. 1 の反映
		3. 漏えい試験		195M	—	8回		
		1. 開放点検	高	130M	—	—*		*：平成13年度に設置 先行実施
	C 使用済燃料ビット冷却器	2. 漏えい試験		130M	—	—*		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回		
		2. 分解点検		104M～130M	○	15回	1次系弁検査	一部先行実施
		3. 簡易点検 （グラインドパッキン取替）		130M	○	15回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他機器	1. 分解点検他	高・低	78M	—	15回		
	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	—	15回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：6 M）
		2. 分解点検 （ポンプ）		130M	—	12回		
		3. 分解点検 （電動機）		52M	—	15回		
		4. 簡易点検 （潤滑油入替 ポンプ）		26M	○	15回		
		1. 機能・性能試験	高	B*	—	15回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：6 M）
		2. 分解点検 （ポンプ）		130M	—	10回		
		3. 分解点検 （電動機）		52M	—	15回		
		4. 簡易点検 （潤滑油入替 ポンプ）		26M	—	15回		
	B 燃料取替用水ポンプ・電動機							
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕 その他の弁	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔燃料取替用水設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回		
		2. 分解点検		130M	○	15回	1次系弁検査	一部先行実施
		3. 簡易点検 （グラインドパッキン取替）		130M	○	14回		
		1. 分解点検他	高	130M	—	15回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	A 蒸気発生器	伝熱管 3, 382本	高	26M	—	15回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1次側	高	13M	○	15回	1次系熱交換器検査	
		2次側	高	13M	○	15回		
		2. 簡易点検 (スラッジランニング)		13M	○	15回		
	B 蒸気発生器	マンホール	高	13M	○	15回		
		1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	26M	○	14回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1. 非破壊試験	高	13M	○	15回	1次系熱交換器検査	
		2. 簡易点検 (スラッジランニング)	高	13M	○	15回		
	C 蒸気発生器	マンホール	高	13M	○	15回		
		1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	26M	—	15回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1. 非破壊試験	高	13M	○	15回	1次系熱交換器検査	
		2. 簡易点検 (スラッジランニング)	高	13M	○	15回		
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	D 蒸気発生器	マンホール	高	13M	○	15回		
		1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	26M	○	14回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1. 非破壊試験	高	13M	○	15回	1次系熱交換器検査	
		2. 簡易点検 (スラッジランニング)	高	13M	○	15回		
	加圧器	マンホール	高	13M	○	15回		
		1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	26M	○	14回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1. 非破壊試験	高	13M	○	15回	1次系熱交換器検査	
		2. 簡易点検 (スラッジランニング)	高	13M	○	15回		
	加圧器安全弁	マンホール	高	13M	○	15回		
		1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	26M	○	15回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1. 非破壊試験	高	13M	○	15回	1次系熱交換器検査	
		2. 簡易点検 (スラッジランニング)	高	13M	○	15回		
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	加圧器	マンホール	高	13M	○	15回		
		1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	26M	○	15回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1. 非破壊試験	高	13M	○	15回	1次系熱交換器検査	
		2. 簡易点検 (スラッジランニング)	高	13M	○	15回		
	加圧器安全弁	マンホール	高	13M	○	15回		
		1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	26M	○	15回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1. 非破壊試験	高	13M	○	15回	1次系熱交換器検査	
		2. 簡易点検 (スラッジランニング)	高	13M	○	15回		
	加圧器逃がし弁	マンホール	高	13M	○	15回		
		1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	26M	○	15回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1. 非破壊試験	高	13M	○	15回	1次系熱交換器検査	
		2. 簡易点検 (スラッジランニング)	高	13M	○	15回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 〔一次冷却材の循環設備〕	加圧器逃がし弁駆動部	1. 分解点検	高	26M	○	15回		
		2. 簡易点検 （特性点検）		13M	○	15回		
	加圧器逃がし弁	1. 機能・性能試験 （駆動部含む）	高	1F	○	15回	加圧器逃がし弁機能検査	
		2. 漏えい試験		1F	○	15回	加圧器逃がし弁漏えい検査	
	加圧器逃がし弁駆動部	3. 分解点検	高	26M	－	15回	加圧器逃がし弁分解検査	
		1. 分解点検		26M	－	15回		
	加圧器逃がし弁前弁	2. 簡易点検 （特性点検）	高	13M	○	15回		
		1. 機能・性能試験 （駆動部含む）		1F	○	15回	加圧器逃がし弁元弁機能検査	
	2個	1. 分解点検	高	130M	－	13回		
		1. 分解点検		130M	－	14回		
	4V-RC-054A	1. 分解点検	高	78M	○	15回		
	4V-RC-054B	1. 分解点検	高	13M～78M	○	15回		
	加圧器逃がし弁前弁駆動部	2. 簡易点検 （特性点検）	高					
		1. 機能・性能試験		1F	○	15回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部施設定検起動後
	A 1次冷却材ポンプ・電動機	2. 分解点検 （ポンプ）	高	130M	－	7回		
		3. 分解点検 （メカニカルシール ポンプ）		13M	○	15回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施
		4. 分解点検 （フライホイール 電動機）		104M	－	10回		
		5. 分解点検 （軸受分解 電動機）		52M	－	14回		
		6. 分解点検 （全分解 電動機）		104M	－	10回		
		7. 簡易点検 （潤滑油入替 電動機）		26M	○	14回		

(6/45)

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術) 一部施設定検起動後
原子炉冷却系統施設 〔一次冷却材の循環設備〕	B 1次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部施設定検起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	○	8回		
		3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ)		13M	○	15回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
		4. 分解点検 (フライホイール) (電動機)		104M	○	8回		
		5. 分解点検 (軸受分解) (電動機)		52M	○	12回		
		6. 分解点検 (全分解) (電動機)		104M	○	8回		
		7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	○	14回		
	C 1次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部施設定検起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	15回		
		3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ)		13M	○	15回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
		4. 分解点検 (フライホイール) (電動機)		104M	—	9回		
		5. 分解点検 (軸受分解) (電動機)		52M	—	13回		
		6. 分解点検 (全分解) (電動機)		104M	—	9回		
		7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	—	15回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （（）内は適用する 設備診断技術） 一部施設定検起動後
原子炉冷却系統施設 〔一次冷却材の循環設備〕	D 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次冷却材ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 （ポンプ）		130M	—	12回		
		3. 分解点検 （メカニカルシール） （ポンプ）		13M	○	15回	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施
		4. 分解点検 （フライホイール） （電動機）		104M	—	11回		
		5. 分解点検 （軸受分解） （電動機）		52M	—	15回		
		6. 分解点検 （全分解） （電動機）		104M	—	11回		
		7. 簡易点検 （潤滑油入替） （電動機）		26M	—	15回		
	原子炉冷却系統施設〔一次冷却材の循環設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1 次系弁検査	
		2. 分解点検	高	52M～260M	○	15回		
		3. 分解点検	低	78M～130M	○	15回	1 次系弁検査	一部BMあり
		4. 簡易点検 （グラインドパッキン取替）	高・低	39M～130M	○	15回		
	原子炉冷却系統施設〔一次冷却材の循環設備〕 その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1 次系弁検査	
		2. 分解点検		26M～65M	○	15回		
		3. 簡易点検 （特性点検）		13M～65M	○	15回		
	原子炉冷却系統施設〔一次冷却材の循環設備〕 その他機器	1. 分解点検他	高	13M～104M	○	15回		
		2. 分解点検他	低	13M～65M	○	15回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （（）内は適用する 設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	主蒸気安全弁	20個	高	1F	○	15回	主蒸気安全弁機能検査	
		B, D系	高	B	—	15回	主蒸気安全弁漏えい検査	
		4V-MS-526B		26M	—	15回		
		4V-MS-527B						
		4V-MS-528B						
		4V-MS-529B						
		4V-MS-530B						
		4V-MS-526D						
		4V-MS-527D						
		4V-MS-528D						
		4V-MS-529D						
		4V-MS-530D						
	主蒸気逃がし弁	A, C系	高	B	○	15回	主蒸気安全弁漏えい検査	
		4V-MS-526A		26M	○	15回		
		4V-MS-527A						
		4V-MS-528A						
		4V-MS-529A						
		4V-MS-530A						
		4V-MS-526C						
		4V-MS-527C						
		4V-MS-528C						
		4V-MS-529C						
		4V-MS-530C						
	主蒸気逃がし弁駆動部	4個	高	1F	○	15回	主蒸気逃がし弁機能検査 最終ヒートシリング熱輸送設 備作動検査は、15回施設 検から設定	
		4PCV-3610		B	○	15回	主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		4PCV-3620		13M	○	15回		
		4PCV-3630						
	主蒸気逃がし弁駆動部	4PCV-3640		52M	○	15回		
			高	13M	○	15回		
	主蒸気隔離弁	4個	高	1F	○	15回	主蒸気隔離弁機能検査	
		4V-MS-533A		39M	—	15回	2次系弁検査	
		4V-MS-533B		39M	—	14回	2次系弁検査	
		4V-MS-533C		39M	○	13回	2次系弁検査	
	主蒸気隔離弁駆動部	4V-MS-533D		39M	—	15回	2次系弁検査	
			高	39M	○	15回		
			高	13M	○	15回		
	タービンバイパス弁	15個	高	1F	○	15回	タービンバイパス弁機能検 査	
				26M	○	15回		
				52M	○	15回		
			高	13M	○	15回		
	タービンバイパス弁駆動部							

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	原子炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	2次系弁検査	一部BMあり
		2. 分解点検		26M～260M	○	15回	2次系弁検査	
		3. 簡易点検 （グラインドパッキン取替）		52M～130M	○	15回		
	原子炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	2次系弁検査	
		2. 分解点検		26M～182M	○	15回		
		3. 簡易点検 （特性点検）		13M～182M	○	15回		
	原子炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕 その他の機器	1. 分解点検他	高	13M～104M	○	15回		
		2. 分解点検他	低	13M～104M	○	15回		
		1. 機能・性能試験	高	B*	—	14回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：3M） その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、15回施設定検から設定 有効性評価 No. 18 の反映
		2. 分解点検 （ポンプ）		78M	—	14回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		3. 分解点検 （電動機）		91M	—	13回		
原子炉冷却系統施設 〔余熱除去設備〕	A 余熱除去ポンプ・電動機	4. 簡易点検 （メカニカルシール取替）	高	78M	○	15回		
		5. 簡易点検 （潤滑油入替）		26M	○	15回		
		6. 簡易点検 （潤滑油入替）		26M	○	15回		
		1. 機能・性能試験		B*	—	15回	1次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 （ポンプ）		78M	—	15回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		3. 分解点検 （電動機）		91M	—	14回		
	B 余熱除去ポンプ・電動機	4. 簡易点検 （メカニカルシール取替）	高	78M	—	15回		B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：3M） その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、15回施設定検から設定 有効性評価 No. 18 の反映
		5. 簡易点検 （潤滑油入替）		26M	○	15回		
		6. 簡易点検 （潤滑油入替）		26M	○	15回		
		1. 機能・性能試験		B*	—	15回	1次系ポンプ機能検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）	
原子炉冷却系統施設 〔余熱除去設備〕	低圧注入系主要弁	4V-RH-050A	高	130M	－	11回	非常用炉心冷却系主要弁弁 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 弁解検査は、15回施設定検 から設定	
		4V-RH-050B				13回	非常用炉心冷却系主要弁弁 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 弁解検査は、15回施設定検 から設定	
		4V-RH-050C				12回	非常用炉心冷却系主要弁弁 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 弁解検査は、15回施設定検 から設定	
		4V-RH-050D				8回	非常用炉心冷却系主要弁弁 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 弁解検査は、15回施設定検 から設定	
		4V-RH-051A				12回	非常用炉心冷却系主要弁弁 解検査		
		4V-RH-051B				13回	非常用炉心冷却系主要弁弁 解検査		
	A 余熱除去冷却器	1. 開放点検	高	130M	○	15回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験		130M	○	6回	1次系熱交換器検査		
		3. 漏えい試験		130M	○	15回			
	B 余熱除去冷却器	1. 開放点検	高	130M	－	11回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験		130M	－	11回	1次系熱交換器検査		
		3. 漏えい試験		130M	－	11回			
	原子炉冷却系統施設〔余熱除去設備〕 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	一部BMあり
			2. 分解点検	高	52M～260M	○	15回	1次系弁検査	
			3. 分解点検	低	78M～130M	○	15回		
			4. 簡易点検 （フランドパッキン取替）	高・低	65M～130M	○	15回		
	原子炉冷却系統施設〔余熱除去設備〕 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1次系弁検査	
			2. 分解点検		52M～182M	○	15回		
			3. 簡易点検 （特性点検）		13M～182M	○	15回		
	原子炉冷却系統施設〔余熱除去設備〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～91M	○	15回		
			2. 分解点検他	低	65M～130M	－	15回		
	その他AM(代替再循環) 機器	1式	1. 分解点検他	高	130M～182M	－	13回	1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （○ 内は適用する 設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕	高圧及び低圧注入系 （余熱除去設備（低圧注入機能）を含む）	1. 機能・性能試験 （ポンプ、電動機、弁、 弁駆動部等含む）	高	1F	○	15回	非常用炉心冷却系機能検査	プラント運転中 〔対象設備〕 ・A、B 高圧注入ポンプ ・A、B 余熱除去ポンプ
		2. 機能・性能試験 （ポンプ、電動機、状態 監視等含む）		6M	○	プラント運 中	運転中の主要機器機能検査 （状態監視含む）	
	その他原子炉注水系	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	その他原子炉注水系機能検査	〔対象設備〕 ・A、B 低圧注入系 ・A、B 高圧注入系 ・B 高圧注入系（電動機海水 冷却） ・A、B、C 充てん系 ・B 充てん系（電動機自己冷 却） 15回施設定検から設定
	A 高圧注入ポンプ・電動機	1. 分解点検 （ポンプ）	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、15回施設定検 から設定	有効性評価 No. 18 の反映
		2. 分解点検 （電動機）		91M	—	15回		
		3. 簡易点検 （メカニカルシール取 替）		130M	—	14回		
		4. 簡易点検 （潤滑油入替） （ポンプ）		26M	○	15回		
	B 高圧注入ポンプ・電動機	1. 分解点検 （ポンプ）	高	130M	—	11回	非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査	〔振動診断：3M〕 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、15回施設定検 から設定 有効性評価 No. 18 の反映
		2. 分解点検 （電動機）		91M	—	15回		
		3. 簡易点検 （メカニカルシール取 替） （ポンプ）		130M	—	15回		
		4. 簡易点検 （潤滑油入替） （ポンプ）		26M	—	15回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目 (ポンプ、電動機含む)	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	恒設代替低圧注水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	—	その他原子炉注水系機能検査 原子炉格納容器安全系機能検査	15回施設定検時に設置
	恒設代替低圧注水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 漏えい試験	高	1F	○	—		15回施設定検時に設置
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	—	その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 原子炉格納容器安全系ポン プ分解検査	
		3. 分解点検 (電動機)		130M	—	—		
	可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	—	可搬型重大事故等対処設備 機能検査	プラント運転中又は施設定 検停止中
		2. 分解点検 (ポンプ)		10Y	—	—		15回施設定検時に設置
		3. 分解点検 (電動機)		130M	—	—		
	高圧注入系主要弁	1. 分解点検	高	260M	—	—	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	
		1. 分解点検	高	130M	○	6回	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	
		1. 分解点検	高	260M	—	—	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	
		1. 分解点検	高	260M	—	7回	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	—	5回	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	—	6回	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	—	5回	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	—	5回	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	—	5回	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	—	6回	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	—	6回	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	—	6回	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	—	6回	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	—	6回	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	—	6回	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	—	6回	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	—	6回	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	蓄圧注入系	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部含む)	高	1F	○	15回	非常用炉心冷却系機能検査 その他原子炉注水系機能検査は、15回施設定検から設定	
	蓄圧注入系主要弁	4V-SI-132A	高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定	
		4V-SI-132B	高	130M	—	14回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定	
		4V-SI-132C	高	130M	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定	
		4V-SI-132D	高	130M	○	6回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定	
		4V-SI-134A	高	130M	—	14回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定	
		4V-SI-134B	高	130M	—	8回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定	
		4V-SI-134C	高	130M	—	9回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定	
		4V-SI-134D	高	130M	—	10回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定	
		4V-SI-136A	高	130M	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定	
		4V-SI-136B	高	130M	—	11回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定	
		4V-SI-136C	高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定	
		4V-SI-136D	高	130M	—	8回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕	蓄圧注入系主要弁駆動部 A 蓄圧タンク B 蓄圧タンク C 蓄圧タンク D 蓄圧タンク 燃料取替用水ピット A、B格納容器再循環サンブ A、B格納容器再循環スクリーン	1. 分解点検	高	182M	—	15回		
		2. 簡易点検 （特性点検）		13M～182M	○	15回		
		1. 開放点検	高	130M	—	14回		
		1. 開放点検	高	130M	—	15回		
		1. 開放点検	高	130M	○	8回		
		1. 開放点検	高	130M	—	10回		
		1. 外観点検	高	1F	○	15回		
		1. 外観点検	高	1F	○	15回		
		1. 外観点検	高	1F	○	15回		
		2. 外観点検		10Y	○	—	原子炉格納容器再循環サンブスクリュー検査	13回施設定検にて設置
		1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1次系弁検査	
		2. 分解点検	高	65M～260M	○	15回	1次系安全弁検査	
		3. 分解点検	低	78M～260M	○	15回	1次系弁検査	
		4. 簡易点検 （クランドパッキン取替）	高・低	78M～130M	○	15回	1次系逆止弁検査	一部BMあり 有効性評価 No. 17 の反映
原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕	原子炉冷却系統施設〔非常用炉心冷却設備〕 その他の弁駆動部 原子炉冷却系統施設〔非常用炉心冷却設備〕 その他の機器 充てんポンプ A 充てんポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1次系弁検査	
		2. 分解点検		65M～182M	○	15回		
		3. 簡易点検 （特性点検）		13M～182M	○	15回		
		1. 分解点検他	高	13M～91M	○	15回		
		2. 分解点検他	低	13M～130M	○	15回		
		1. 機能・性能試験 （ポンプ、電動機等含む）	高	1F	○	15回	充てんポンプ冷却材補給系機能検査	
		1. 分解点検 （ポンプ）	高	78M	—	14回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査 化学体積制御系充てんポンプ分解検査	（振動診断：6 M） その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、15回施設定検から設定
		2. 分解点検 （電動機）		91M	○	11回		
		3. 簡易点検 （メカニカルシール取替） （ポンプ）		26M	—	15回		
		4. 簡易点検 （潤滑油入替） （ポンプ）		26M	—	15回		
		5. 簡易点検 （潤滑油入替） （電動機）		13M	○	15回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕	B 充てんポンプ・電動機	1. 分解点検 （ポンプ）	高	78M	○	14回	その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 化学体積制御系充てんポン プ分解検査	(振動診断：6M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、15回施設定検 から設定
		2. 分解点検 （電動機）		91M	—	15回		
		3. 簡易点検 （メカニカルシール取 替 （ポンプ）		26M	○	14回		
		4. 簡易点検 （潤滑油入替 （ポンプ）		26M	○	15回		
		5. 簡易点検 （潤滑油入替 （電動機）		13M	○	15回		
	C 充てんポンプ・電動機	1. 分解点検 （ポンプ）	高	65M	—	14回	その他原子炉注水系ポンプ 分解検査	(電動機 振動診断：3 M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、15回施設定検 から設定
		2. 分解点検 （電動機）		104M	—	13回		
		3. 簡易点検 （潤滑油入替 （ポンプ）		26M	—	15回		
	その他原子炉注水系主要弁	1. 分解点検	高	130M	—	14回	その他原子炉注水系主要弁 分解検査 1次系弁検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検		130M	—	15回	その他原子炉注水系主要弁 分解検査 1次系弁検査	
		1. 分解点検		130M	—	10回	その他原子炉注水系主要弁 分解検査 1次系弁検査	
		1. 分解点検		130M	—	13回	その他原子炉注水系主要弁 分解検査 1次系弁検査	
	体積制御タンク 冷却材フィルタ A 冷却材脱塩塔入口フィルタ B 冷却材脱塩塔入口フィルタ A 封水注入フィルタ B 封水注入フィルタ 非再生冷却器 封水冷却器 余剰抽出水冷却器	1. 開放点検	高	130M	—	10回		
		1. 開放点検		130M	—	11回		
		1. 開放点検		130M	—	15回		
		1. 開放点検		130M	—	14回		
		1. 開放点検		130M	○	7回		
		1. 開放点検		130M	○	6回		
		1. 開放点検		130M	—	11回	1次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	11回	1次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		130M	—	11回		
		1. 開放点検		130M	—	12回	1次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	12回	1次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		130M	—	12回		
		1. 開放点検	高	130M	○	15回		
		2. 非破壊試験		130M	○	8回		
		3. 漏えい試験		130M	○	15回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （○ 内は適用する 設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕	原子炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1次系弁検査	
		2. 分解点検	高	13M～260M	○	15回	1次系安全弁検査	
		3. 分解点検	低	78M～195M	○	15回	1次系逆止弁検査	
		4. 簡易点検 （グラウンドバッキン取替）	高・低	65M～130M	○	15回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	一部BMあり
原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕 その他の弁駆動部	原子炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕 その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1次系弁検査	
		2. 分解点検		52M～182M	○	15回		
		3. 簡易点検 （特性点検）		13M～182M	○	15回		
		1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M～130M 13M～130M	○ ○	15回 15回		
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却設備〕	原子炉補機冷却系（冷却水系）	1. 機能・性能試験 （弁、弁駆動部等含む）	高	1F	○	15回	原子炉補機冷却系機能検査	一部BMあり
		1. 機能・性能試験	高	B*	—	15回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 （振動診断：6 M）
		2. 分解点検 （ポンプ）		52M	—	15回		
		3. 分解点検 （電動機）		91M	—	15回		
原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	A原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	4. 簡易点検 （潤滑油入替）		26M	○	15回		
		5. 簡易点検 （潤滑油入替）		26M	○	15回		
		1. 機能・性能試験	高	B*	○	15回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 （振動診断：6 M）
		2. 分解点検 （ポンプ）		52M	—	15回		
原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	B原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	3. 分解点検 （電動機）		91M	○	11回		
		4. 簡易点検 （潤滑油入替）		26M	○	15回		
		5. 簡易点検 （潤滑油入替）		26M	○	15回		
		1. 機能・性能試験	高	B*	○	15回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 （振動診断：6 M）
原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	C原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	2. 分解点検 （ポンプ）		52M	○	15回		
		3. 分解点検 （電動機）		91M	—	13回		
		4. 簡易点検 （潤滑油入替）		26M	○	15回		
		5. 簡易点検 （潤滑油入替）		26M	○	15回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術） B*：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 （振動診断：6M）
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却設備〕	D 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	—	15回	1 次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 （ポンプ）		52M	—	15回		
		3. 分解点検 （電動機）		91M	—	15回		
		4. 簡易点検 （潤滑油入替 （ポンプ）		26M	—	15回		
		5. 簡易点検 （潤滑油入替 （電動機）		26M	○	15回		
	格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷 却水ポンプ	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—	可搬型重大事故等対処設備 機能検査	15回施設定検時に設置
		1. 開放点検		130M	—	10回		
		1. 分解点検		130M	—	10回	1 次系真空破壊弁検査	
		1. 開放点検		13M	○	15回		
		2. 非破壊試験		13M	○	15回	1 次系熱交換器検査	
	B 原子炉補機冷却水冷却器	3. 漏えい試験	高	13M	○	15回		有効性評価 No. 2 の反映
		1. 開放点検		13M	○	15回		
		2. 非破壊試験		13M	○	15回		
		2. 非破壊試験		26M	○	15回	1 次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		13M	○	15回		
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却水 設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1 次系弁検査 1 次系安全弁検査 1 次系弁検査	
		2. 分解点検		130M～260M	○	15回		
		3. 簡易点検 （グラインドパッキン取 替）		130M～195M	○	15回		
		1. 機能・性能試験		B	○	15回	1 次系弁検査	
		2. 分解点検		65M～182M	○	15回		
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却水 設備〕 その他の弁駆動部	3. 簡易点検 （特性点検）	高・低	13M～182M	○	15回		
		1. 分解点検他		13M～130M	○	15回		
		2. 分解点検他		13M～65M	○	15回		
		1. 分解点検他		13M～130M	○	15回		
		2. 分解点検他		13M～65M	○	15回		
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却水 設備〕 その他AM(代替補機冷却、格納容器自然 対流冷却) 機器	1. 分解点検他	高	13M～130M	○	15回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （○ 内は適用する 設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	原子炉補機冷却系（海水系）	1. 機能・性能試験 （弁、弁駆動部等含む）	高	1F	○	15回	原子炉補機冷却系機能検査	
	A 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	○	15回	2次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施 有効性評価 No. 3 の反映
		2. 分解点検 （ポンプ）		52M	○	15回	2次系ポンプ分解検査	
		3. 分解点検 （電動機）		104M	○	15回		
		4. 簡易点検 （グラウンドバッキン取 替） （ポンプ）		13M	○	15回		
	B 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	—	15回	2次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施 有効性評価 No. 3 の反映
		2. 分解点検 （ポンプ）		52M	—	15回	2次系ポンプ分解検査	
		3. 分解点検 （電動機）		104M	—	15回		
		4. 簡易点検 （グラウンドバッキン取 替） （ポンプ）		13M	○	15回		
	C 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	—	15回	2次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施 有効性評価 No. 3 の反映
		2. 分解点検 （ポンプ）		52M	—	15回	2次系ポンプ分解検査	
		3. 分解点検 （電動機）		104M	—	15回		
		4. 簡易点検 （グラウンドバッキン取 替） （ポンプ）		13M	○	15回		
原子炉冷却系統施設 〔原子炉格納容器内の一次冷却材 の漏えいを監視する装置〕	原子炉冷却系統施設「原子炉補機冷却海 水設備」 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回		
		2. 分解点検		13M～65M	○	15回	2次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設「原子炉補機冷却海 水設備」 その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高	B	○	15回	2次系弁検査	
		2. 分解点検		78M	○	15回		
		3. 簡易点検 （特性点検）		13M～52M	○	15回		
	原子炉冷却系統施設「原子炉補機冷却海 水設備」 その他機器	1. 分解点検他	高	13M～65M	○	15回		
		2. 分解点検他		13M～52M	○	15回		一部BMあり
	原子炉冷却系統施設 格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び 格納容器内凝縮液量測定装置	1. 特性試験	低	13M	○	15回	格納容器サンプ水位上昇率 測定装置及び格納容器内凝 縮液量測定装置漏えい検出 器機能検査	
		2. 機能・性能試験	低	1F	○	15回	格納容器サンプ水位上昇率 測定装置及び格納容器内凝 縮液量測定装置漏えい検出 器機能検査	
	炉内計装用シンブル配管室ドレンピット 漏えい検出装置	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	格納容器サンプ水位上昇率 測定装置及び格納容器内凝 縮液量測定装置漏えい検出 器機能検査	15回施設定検時に改造

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備]	補助給水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、原動 機、弁、弁駆動部等含 む)	高	1F	○	15回	補助給水系機能検査	
	A 電動補助給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	15回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：3 M)
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)		26M	—	15回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)		26M	—	15回		
	B 電動補助給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	15回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：3 M)
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)		26M	—	15回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)		26M	○	15回		
	タービン動補助給水ポンプ・タービン	1. 機能・性能試験 (タービン)	高	B	—	15回	2 次系ポンプ機能検査	(振動診断：3 M)
		2. 分解点検		52M	—	15回		
		3. 簡易点検 (ストレーナ清掃)		26M	—	15回		
	4 復水ピット	1. 外観点検	高	1F	○	15回		
		1. 機能・性能試験	高	B	○	15回	2 次系弁検査	
		2. 分解点検		78M～260M	○	15回	2 次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁	3. 簡易点検 (グラインドパッキン取 替)		130M	○	15回		
		1. 機能・性能試験	高	B	○	15回	2 次系弁検査	
		2. 分解点検		78M～182M	○	15回		
	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の機器	3. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M	○	15回		
		1. 分解点検他	高	13M～130M	○	15回		
	計測制御系統施設 [制御材]	1. 外観点検	高	1F	○	15回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
		1. 外観点検	高	1F	○	15回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
		1. 外観点検	高	1F	○	15回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
		1. 外観点検	高	1F	○	15回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する 設備診断技術)	
計測制御系統施設 〔制御棒駆動装置〕	制御棒クラスタ	53本	1.機能・性能試験	高	1F	○	15回	制御棒駆動系機能検査		
			2.機能・性能試験		1F	○	15回	制御棒クラスタ動作検査		
	A制御棒駆動装置MGセット		1.分解点検	高	52M	—	15回		(振動診断：3M)	
			2.簡易点検 (潤滑油入替) (発電機)		26M	○	15回			
	B制御棒駆動装置MGセット		1.分解点検	高	52M	—	15回		(振動診断：3M)	
			2.簡易点検 (潤滑油入替) (発電機)		26M	—	15回			
	計測制御系統施設〔制御棒駆動装置〕 その他の機器		1.分解点検他	高・低	13M～39M	○	15回			
	計測制御系統施設 〔ほう酸注入機能を有する設備〕	Aほう酸ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	B＊	—	15回	ほう酸ポンプ機能検査	B＊：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断：3M)
				2.分解点検 (ポンプ)		78M	—	15回	ほう酸ポンプ分解検査	
				3.分解点検 (電動機)		52M	—	15回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	15回				
Bほう酸ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	B＊	—	15回	ほう酸ポンプ機能検査	B＊：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断：3M)		
		2.分解点検 (ポンプ)		78M	—	15回	ほう酸ポンプ分解検査			
		3.分解点検 (電動機)		52M	—	15回				
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	15回				
Aほう酸タンク		1.開放点検	高	130M	—	14回				
Aほう酸タンク真空逃がし弁		1.分解点検	高	130M	—	14回		1次系真空破壊弁検査		
計測制御系統施設 〔工学的安全施設等の作動信号〕	Bほう酸タンク		1.開放点検	高	130M	—	13回			
	Bほう酸タンク真空逃がし弁		1.分解点検	高	130M	—	13回		1次系真空破壊弁検査	
	ほう酸フィルタ		1.開放点検	高	130M	—	15回			
	計測制御系統施設〔ほう酸注入機能を有する設備〕 その他の弁		1.機能・性能試験	高・低	B	—	15回			
			2.分解点検		130M	—	15回			
	A TWS 緩和設備		1.特性試験	高	13M	○	—		重大事故時安全停止回路機能検査	15回施設設定検時に設置
	1式		2.機能・性能試験		1F	○	—	重大事故時安全停止回路機能検査		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術）
計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕	制御用空気圧縮機	2台	高	1F	○	15回	制御用空気圧縮系機能検査	
	A 制御用空気圧縮機・電動機		高	13M	○	15回		（電動機 振動診断：6M）
				52M	○	15回		
	B 制御用空気圧縮機・電動機		高	13M	○	15回		（電動機 振動診断：6M）
				52M	—	15回		
	代替制御用空気供給設備	1式	高	1F	○	—		15回施設定検時に設置
	計測制御系統施設〔制御用空気設備〕 その他の弁	一式	高・低	B	○	15回	1次系弁検査	
				13M～195M	○	15回	1次系弁検査	
				130M	○	12回		
	計測制御系統施設〔制御用空気設備〕 その他の機器	一式	高	B	○	15回	1次系弁検査	有効性評価 No. 4 の反映
計測制御系統施設 〔その他設備〕				13M～182M	○	15回		
				13M～182M	○	15回		
			高	13M～78M	○	15回		
			低	13M	○	15回		
			高	1F	○	15回	安全保護系機能検査	
	・原子炉保護系ロジック回路 ・安全防護系ロジック回路 ・バypassロジック回路	28回路 25回路 6回路	高	1F	○	15回	安全保護系設定値確認検査	
	原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器 ・1次冷却材等計測装置 保護継電器 伝送器 設定器 ・核計測装置 設定器 重要な指示計器 ・1次冷却材等計測装置 指示計 ・核計測装置 指示計	6個 76個 117個 20個 31個 8個	高・低	13M	○	15回		
	事故時監視計器 ・圧力監視計器 ・水位監視計器 ・流量監視計器 ・温度監視計器	2個 16個 8個 10個	高	13M	○	15回	プラント状態監視設備機能検査	
	事故時試料採取設備 格納容器雰囲気ガス試料採取設備	1台	高	1F	○	15回	プラント状態監視設備機能検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）
計測制御系統施設 〔その他設備〕	・ 制御棒制御系 ・ 加圧器水位制御系 ・ 加圧器圧力制御系 ・ 蒸気発生器水位制御系	1式	高	1F	○	15回	計測制御系機能検査	一部施設定検起動後
	1次系及び2次系計測制御装置	1式	高・低	13M	○	15回	計測制御系監視機能検査	一部施設定検起動後
	炉外核計測装置 ・ 中性子源領域検出器 ・ 中間領域検出器 ・ 出力領域検出器	2個 2個 8個	高	13M	○	15回	核計装設備検査	一部施設定検起動後
	炉内核計測装置 駆動装置	4台	高	1F	○	15回	核計装設備検査	
	制御棒位置指示装置		高	13M	○	15回	制御棒位置指示装置設定値 検査	
	炉内計装用シンブルチューブ	58本	高	78M	－	12回	炉内計装用シンブルチューブ 体積検査	
	総合インターロック ・ 原子炉トリップ信号 （タービン、発電機トリップ） ・ タービントリップ信号 （原子炉、発電機トリップ） ・ 発電機トリップ信号 （原子炉、タービントリップ）	1式	高	1F	○	15回	総合インターロック検査	
	中央制御室外の原子炉の停止制御回路	24回路	高	1F	○	15回	原子炉の停止制御回路健全 性確認検査	
	恒設代替低圧注水積算流量	1個	高	13M	○	－	フランスト状態監視設備機能 検査	15回施設定検時に設置
	原子炉水位	1個	高	13M	○	－	フランスト状態監視設備機能 検査	15回施設定検時に設置
	AM用格納容器圧力	1個	高	13M	○	－	フランスト状態監視設備機能 検査	フランスト状態監視設備機能 検査は、16回施設定検から 実施
	可搬型格納容器水素ガス濃度	2個	高	26M	○	15回		
	原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライ ン圧力	2個	高	13M	○	－	計測制御系監視機能検査	15回施設定検時に設置
	格納容器スプレイ積算流量	1個	高	13M	○	－	計測制御系監視機能検査	15回施設定検時に設置
	原子炉格納容器水位	1対	高	1F	○	－	フランスト状態監視設備機能 検査	15回施設定検時に設置
	原子炉下部キャビティ水位	1対	高	1F	○	－	フランスト状態監視設備機能 検査	15回施設定検時に設置
	アニユラス水素濃度	2個	高	13M	○	－	フランスト状態監視設備機能 検査	15回施設定検時に設置
	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置	2台	高	1F	○	－	可搬型重大事故等対処設備 機能検査	15回施設定検時に設置

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
計測制御系統施設 【その他設備】	計測制御系統施設【その他設備】 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1 次系安全弁検査	
		2. 分解点検	高	78M～260M	○	15回	1 次系弁検査	
		3. 分解点検	低	104M～130M	—	15回	1 次系逆止弁検査	一部BMあり
		4. 簡易点検 （グラインドパッキン取 替）	高・低	65M～130M	○	15回		
放射性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理 設備】	計測制御系統施設【その他設備】 その他機器	1. 特性試験他	高	13M～52M	○	15回		
		2. 特性試験他	低	13M～78M	○	15回		一部BMあり
	A 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	○	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施
		2. 分解点検 （ポンプ）		26M	○	15回		
		3. 分解点検 （電動機）		52M	—	15回		
	B 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施
		2. 分解点検 （ポンプ）		26M	—	15回		
		3. 分解点検 （電動機）		52M	—	15回		
	A 格納容器サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	○	12回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 水中ポンプ
		2. 分解点検 （ポンプ）		78M	○	12回		
		3. 分解点検 （電動機）		78M	○	12回		
	B 格納容器サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 水中ポンプ
		2. 分解点検 （ポンプ）		78M	—	15回		
		3. 分解点検 （電動機）		78M	—	15回		
	A 原子炉周辺建屋サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	14回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施
		2. 分解点検 （ポンプ）		195M	—	14回		
		3. 分解点検 （電動機）		156M	—	13回		
	B 原子炉周辺建屋サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施
		2. 分解点検 （ポンプ）		195M	—	15回		
		3. 分解点検 （電動機）		156M	—	13回		
	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能（最終の流入サンプ）	1. 機能・性能試験	低	1F	○	15回	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査（最終の流入サンプ）	先行実施
	1式							

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術）
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁	1式	低	B	○	15回	1 次系安全弁検査	
			高・低	104M～130M	○	15回	1 次系弁検査	一部BMあり
			低	130M	○	15回	1 次系逆止弁検査	
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の機器	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁駆動部	1式	低	B	—	15回		
			低	65M～130M	—	15回		一部先行実施
				13M～130M	○	15回		
	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の機器	1式	低	13M～130M	○	15回		一部先行実施 一部BMあり
							エリアモニタ機能検査	
	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の機器	1式	高	13M	○	15回		
							エリアモニタ機能検査	
	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の機器	1式	高	13M	○	15回		
							エリアモニタ機能検査	
	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の機器	1式	高	13M	○	15回		
							エリアモニタ機能検査	
	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の機器	1式	低	1F	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の機器	1式	低	13M	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	A 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	4R-21A	低	1F	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	B 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	4R-21B	低	1F	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	C 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	4R-40	低	1F	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	D 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	4R-41	低	1F	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	E 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	4R-43	高	1F	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	F 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	4R-55	高	1F	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	G 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	4R-56	低	1F	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	H 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	4R-58	低	1F	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	I 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	4R-65	高	1F	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	J 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	4R-66	高	1F	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	K 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	4R-67	高	1F	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	L 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	4R-68	高	1F	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	M 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	4R-70	低	1F	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	N 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	4R-80A	高	1F	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	O 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	4R-80B	高	1F	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	P 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	4R-80C	高	1F	○	15回		
							放射線監視装置機能検査	一部先行実施

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	A 主蒸気管モニタ	4R-87	高	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	B 主蒸気管モニタ	4R-88	高	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	C 主蒸気管モニタ	4R-89	高	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	D 主蒸気管モニタ	4R-90	高	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器エアロク区域エリアモニタ	4R-2	低	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	A 充てんポンプ室エリアモニタ	4R-4A	低	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	B 充てんポンプ室エリアモニタ	4R-4B	低	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
放射線管理施設 〔換気設備〕	C 充てんポンプ室エリアモニタ	4R-4C	低	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット区域エリアモニタ	4R-5	高	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	炉内計装区域エリアモニタ	4R-7	低	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	可燃式使用済燃料ピット区域周辺エリア モニタ	2台	高	13M	○	—	放射線監視装置機能検査	15回施設定検時に設置
	放射線管理施設〔放射線管理用計測装 置〕	1式	高	13M	○	15回		
	その他機器		低	13M	○	15回		
	中央制御室非常用循環系		高	1F	○	15回	中央制御室非常用循環系機 能検査	
放射線管理施設 〔換気設備〕	A 中央制御室非常用循環ファン・電動機		高	91M	—	15回		（振動診断：3 M）
				78M	—	12回		
	B 中央制御室非常用循環ファン・電動機		高	91M	—	12回		（振動診断：3 M）
				78M	—	11回		
	中央制御室非常用循環ファンユニット	1系列	高	1F	○	15回	中央制御室非常用循環系 フィルター性能検査	
				X*	○	15回		X*:機能・性能試験結果に より適宜実施
				1F	○	15回	1次系換気空調設備検査	
				260M	○	7回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 （ファン）		B	—	2回		電動機分解時に分解点検を 実施 先行実施
		3. 分解点検 （電動機）		CBM	—	2回		（電動機 振動診断：1 2 M） 先行実施
	B 格納容器給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 （ファン）		B	○	7回		電動機分解時に分解点検を 実施 先行実施
		3. 分解点検 （電動機）		CBM	○	1回		（電動機 振動診断：1 2 M） 先行実施
	A 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	（振動診断：1 2 M） 先行実施
		2. 分解点検 （ファン）		130M	—	12回		
		3. 分解点検 （電動機）		CBM	—	2回		
	B 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	（振動診断：1 2 M） 先行実施
		2. 分解点検 （ファン）		130M	○	11回		
		3. 分解点検 （電動機）		CBM	○	1回		
	A 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 （ファン）		130M	—	11回		
		3. 分解点検 （電動機）		65M	○	11回		
	B 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 （ファン）		130M	—	15回		
		3. 分解点検 （電動機）		65M	—	15回		
	C 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 （ファン）		130M	—	12回		
		3. 分解点検 （電動機）		65M	—	12回		
	D 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 （ファン）		130M	—	14回		
		3. 分解点検 （電動機）		65M	—	14回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回数）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		130M	—	14回		
		3. 分解点検 (電動機)		65M	—	14回		
	B 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		130M	—	12回		
		3. 分解点検 (電動機)		65M	—	12回		
	A 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		78M	—	15回		
		3. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回		
	B 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		78M	—	14回		
		3. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回		
	A 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	(ファン 振動診断：6 M)
		2. 分解点検 (ファン)		91M	—	15回		(電動機 振動診断：2 M)
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	5回		
	B 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	(ファン 振動診断：6 M)
		2. 分解点検 (ファン)		91M	—	15回		(電動機 振動診断：2 M)
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	○	4回		
	A 補助建屋給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断：1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M	—	12回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	13回		
	B 補助建屋給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断：1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M	○	11回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	○	7回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術） （振動診断： 1 2 M） 先行実施
放射線管理施設 [換気設備]	A 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 （ファン）		130M	—	12回		
		3. 分解点検 （電動機）		CBM	—	8回		
	B 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	（振動診断： 1 2 M） 先行実施
		2. 分解点検 （ファン）		130M	—	11回		
		3. 分解点検 （電動機）		CBM	—	7回		
	C 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	（振動診断： 1 2 M） 先行実施
		2. 分解点検 （ファン）		130M	○	10回		
		3. 分解点検 （電動機）		CBM	○	3回		
	A 安全補機室冷却ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	（電動機 振動診断： 3 M）
		2. 分解点検 （ファン）		104M	—	10回		
		3. 分解点検 （電動機）		104M	—	10回		
	B 安全補機室冷却ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	（電動機 振動診断： 3 M）
		2. 分解点検 （ファン）		104M	○	9回		
		3. 分解点検 （電動機）		104M	○	9回		
	A ほう酸ポンプ室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 （ファン）		78M	—	14回		
		3. 分解点検 （電動機）		78M	—	14回		
	B ほう酸ポンプ室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 （ファン）		78M	○	13回		
		3. 分解点検 （電動機）		78M	○	13回		
	A 格納容器排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 （差圧確認）	低	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		BM	—	6回		
		1. 機能・性能試験 （差圧確認）		1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
	B 格納容器排気フィルタユニット	2. 開放点検	低	BM	—	7回		先行実施
		1. 機能・性能試験 （差圧確認）		1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		BM	—	7回		
	格納容器空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験 （差圧確認）	低	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		BM	—	8回		
		1. 機能・性能試験 （差圧確認）		1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
	A 補助建屋排気フィルタユニット	2. 開放点検	高	52M	○	14回		先行実施
		1. 機能・性能試験 （差圧確認）		1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		52M	—	14回		
	B 補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 （差圧確認）	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		52M	—	14回		
		1. 機能・性能試験 （差圧確認）		1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	15回		先行実施
		2. 開放点検		52M	○	14回		
		1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	15回		先行実施
		2. 開放点検		52M	○	15回		
	A 中央制御室空調ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	15回		
		2. 開放点検		52M	○	14回		
	B 中央制御室空調ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	15回		
		2. 開放点検		52M	○	15回		
	A 補助建屋給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	15回		先行実施
		2. 開放点検		52M	○	14回		
	B 補助建屋給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	15回		先行実施
		2. 開放点検		52M	○	15回		
	A 安全補機室冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M	○	14回		
		2. 開放点検		52M	○	15回		
	B 安全補機室冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M	○	15回		
		2. 開放点検		52M	○	14回		
	A 格納容器冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M	○	15回		
		2. 開放点検		52M	○	15回		
	B 格納容器冷却ユニット	1. 機能・性能試験 (駆動部を含む)	高・低	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	一部先行実施
		2. 分解点検他		39M～65M	○	15回		
	自動ダンパ	1. 分解点検	高・低	52M～156M	○	15回		一部先行実施 有効性評価 No. 8, 9 の反映
		2. 簡易点検 (特性点検)		13M～65M	○	15回		
	放射線管理施設 [換気設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1 次系安全弁検査	一部先行実施
		2. 分解点検		130M	○	15回		
	放射線管理施設 [換気設備] その他の弁駆動部	3. 簡易点検 (グラントパッキン取替)	高・低	130M	○	15回	1 次系弁検査	一部先行実施
		1. 機能・性能試験		B	○	15回		
	放射線管理施設 [換気設備] その他の機器	2. 分解点検	高・低	52M～182M	○	15回	1 次系弁検査	一部先行実施 有効性評価 No. 10 の反映
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M	○	15回		
	放射線管理施設 [換気設備] その他の機器	1. 分解点検他	高・低	13M～130M	○	15回		一部先行実施 有効性評価 No. 5, 6, 7, 11 の反映
		2. 簡易点検 (潤滑油入替)		13M	○	15回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）
原子炉格納施設 〔原子炉格納容器〕	原子炉格納容器	1. 漏えい率試験	高	3F	—	15回	原子炉格納容器全体漏えい 率検査	10年に1回は設計圧力にて 実施（15回定検において設 計圧力により実施）
	プレストレストコンクリート格納容器	1. 機能・性能試験	高	5Y	—	15回	プレストレストコンクリー ト格納容器供用期間中検査	
		2. 外観点検		5Y	—	15回	プレストレストコンクリー ト格納容器供用期間中検査	
	エアロック	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	14回	原子炉格納容器局部漏えい 率検査	
		2. 分解点検		52M	—	13回		
		3. 簡易点検 （潤滑油補給他）		26M	—	15回		
	非常用 1個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	14回	原子炉格納容器局部漏えい 率検査	
		2. 分解点検		52M	—	14回		
		3. 簡易点検 （潤滑油補給他）		26M	○	15回		
	1個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	14回	原子炉格納容器局部漏えい 率検査	
		2. 開放点検		13M	○	15回		
		3. 非破壊試験		10Y	—	14回	原子炉格納容器供用期間中 検査	ISIプログラムによる。 〔別紙－6〕
	配管貫通部（貫通配管閉止フランジ部）	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	14回	原子炉格納容器局部漏えい 率検査	
		2. 開放点検		開放の 都度	○	14回		
	電線貫通部	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	14回	原子炉格納容器局部漏えい 率検査	
	原子炉格納容器隔離弁	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	14回	原子炉格納容器局部漏えい 率検査	
	原子炉格納容器隔離（T・V信号及びT ＋UV信号）により隔離される弁	1. 機能・性能試験 （駆動部等含む）	高	1F	○	15回	原子炉格納容器隔離弁機能 検査	
		1. 機能・性能試験 （駆動部等含む）	高	1F	○	15回	原子炉格納容器隔離弁機能 検査	
		1. 分解点検	高	52M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
	原子炉格納容器隔離弁	1. 分解点検	高	52M	○	15回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		1. 分解点検	高	52M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		1. 分解点検	高	13M	○	15回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
	4V-WL-042	1. 分解点検	高	104M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
	4V-WL-043	1. 分解点検	高	104M	—	12回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
	4V-WL-143	1. 分解点検	高	104M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
	4V-WL-144	1. 分解点検	高	104M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）
原子炉格納施設 〔原子炉格納容器〕	原子炉格納容器隔離弁	4V-DP-001A	高	130M	—	7回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		4V-DP-001B	高	130M	—	8回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		4V-DP-002A	高	130M	—	8回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		4V-DP-002B	高	130M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		4V-CS-007	高	130M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		4V-CS-310	高	130M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		4V-CS-312	高	130M	—	14回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		4V-CC-342	高	130M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		4V-CC-365	高	130M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		4V-CC-401	高	130M	—	8回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		4V-CC-403	高	130M	—	9回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		4V-CC-427	高	130M	—	9回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		4V-CC-429	高	130M	—	8回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		4V-1A-508A	高	130M	—	9回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		4V-1A-508B	高	130M	—	10回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
原子炉格納施設 〔原子炉格納容器〕 その他の弁	原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕 その他の弁	1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高・低	B	—	15回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
		1式	高	78M～260M 26/39M*	—	15回	1次系弁検査	
		1式	高	52M～130M	—	15回	1次系弁検査	
		1式	高	B	○	15回	1次系弁検査	
		1式	高	65M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高・低	13M～104M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
原子炉格納施設 〔原子炉格納容器〕 その他の機器	原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕 その他の機器	1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		
		1式	高	52M～182M 13M～182M	○	15回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術）
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設 備〕	原子炉格納容器スプレイ系	1. 機能・性能試験 （ポンプ、電動機、弁、 弁駆動部等含む）	高	1F	○	15回	原子炉格納容器安全系機能 検査	
		2. 機能・性能試験		1F	○	15回	その他原子炉注水系機能検 査	〔対象設備〕 ・ A 格納容器スプレイポン プによる代替炉心注入系 15回施設定検から設定
		3. 機能・性能試験 （ポンプ、電動機、状態 監視等含む）	高	6M	○	プラント運転 中	運転中の主要機器機能検査 （状態監視含む）	プラント運転中 〔対象設備〕 ・ A、B 格納容器スプレイ ポンプ
		1. 分解点検 （ポンプ）		130M	—	12回	その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 原子炉格納容器安全系ポン プ分解検査	（振動診断：3M） 12回は、格納容器スプレイ 系ポンプ分解検査として実 施 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、15回施設定検 から設定
		2. 分解点検 （電動機）		91M	○	11回		有効性評価 No. 18 の反映
	A 格納容器スプレイポンプ・電動機	3. 簡易点検 （メカニカルシール取 替） （ポンプ）	高	130M	—	12回		
		4. 簡易点検 （潤滑油入替） （ポンプ）		26M	○	15回		
		5. 簡易点検 （潤滑油入替） （電動機）		26M	○	15回		
		1. 分解点検 （ポンプ）		130M	—	11回	原子炉格納容器安全系ポン プ分解検査	（振動診断：3M） 11回は、格納容器スプレイ 系ポンプ分解検査として実 施
		2. 分解点検 （電動機）		91M	—	12回		有効性評価 No. 18 の反映
B 格納容器スプレイポンプ・電動機		3. 簡易点検 （メカニカルシール取 替） （ポンプ）	高	130M	—	11回		
		4. 簡易点検 （潤滑油入替） （ポンプ）		26M	○	15回		
		5. 簡易点検 （潤滑油入替） （電動機）		26M	—	15回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （（）内は適用する 設備診断技術）
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	A 格納容器スプレイ冷却器	1. 開放点検	高	130M	—	10回	1 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	10回	1 次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		130M	—	10回		
	B 格納容器スプレイ冷却器	1. 開放点検	高	130M	—	9回	1 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	9回	1 次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		130M	—	9回		
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁	1. 分解点検	高	78M	○	11回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	11回は、原子炉格納容器スプレイ系主要弁分解検査として実施
		1. 分解点検		78M	—	15回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		1. 分解点検		130M	—	13回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	13回は、原子炉格納容器スプレイ系主要弁分解検査として実施
	4V-CP-054B	1. 分解点検	高	130M	—	14回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	14回は、原子炉格納容器スプレイ系主要弁分解検査として実施
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部一式	1. 分解点検	高	182M	○	14回		
		2. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M	○	15回		
		1. 開放点検		130M	—	10回		
	よう素除去薬品タンク	1. 分解点検	高	130M	—	10回	1 次系真空破壊弁検査	
	よう素除去薬品タンク真空逃がし弁	1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、 弁駆動部、ダンパ、ダン パ駆動部等含む)	高	1F	○	15回	アニュウラス循環排気系機能検査	
	A アニュウラス空気浄化ファン・電動機	1. 分解点検 (ファン)	高	B	—	4回		電動機分解時に実施
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	8回		(電動機 振動診断：1M)
	B アニュウラス空気浄化ファン・電動機	1. 分解点検 (ファン)	高	B	○	3回		電動機分解時に実施
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	○	7回		(電動機 振動診断：1M)
	A、B アニュウラス空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (よう素フィルタ)	高	1F	○	15回	アニュウラス循環排気系フィルタ－性能検査	A系、B系交互に実施
		2. 開放点検 (フィルタ取替)		X*	○	15回		X*：機能・性能試験結果により適宜実施
	A アニュウラス空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		260M	—	14回		
	B アニュウラス空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		260M	—	15回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設 備〕	可燃性ガス濃度制御系主要弁	4V-VS-102A	高	65M	—	15回	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査は、15回施設 検から設定
		4V-VS-102B	高	65M	—	15回	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査は、15回施設 検から設定
		4V-VS-103A	高	65M	—	15回	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査は、15回施設 検から設定
		4V-VS-103B	高	65M	—	15回	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査は、15回施設 検から設定
	静的触媒式水素再結合装置	5個	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合 装置機能検査	15回施設検時に設置
		2. 外観点検(触媒プレー ト)		5F	—	—		
		3. 外観点検(本体)		1F	○	—		
	原子炉格納容器水素燃焼装置	14個	高	1F	○	—		15回施設検時に設置
		1. 外観点検		1F	○	—		
		2. 絶縁抵抗測定		1F	○	—		
		3. 抵抗測定		1F	○	—		
	静的触媒式水素再結合装置 温度監視装置	4. 機能・性能試験 (シーケンス試験)		1F	○	—	原子炉格納容器水素再結合 装置機能検査	
		1. 特性試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	15回施設検時に設置
		1. 特性試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	15回施設検時に設置
		1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
	原子炉格納施設〔圧力低減設備その他の 安全設備〕 安全設備 その他の弁	2. 分解点検		104M～130M	○	15回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
		3. 簡易点検 (グラインドパッキン取 替)		78M～130M	○	15回		
		1. 機能・性能試験	高	B	○	15回	1次系弁検査	
		2. 分解点検		78M～182M 13M～182M	○	15回		
原子炉格納施設〔圧力低減設備その他の 安全設備〕 安全設備 その他の機器	原子炉格納施設〔圧力低減設備その他の 安全設備〕 安全設備 その他の機器	3. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M	○	15回		
		1. 機能・性能試験	高	10F	—	14回		
		2. 分解点検他		91M～130M	○	15回		
		1. 分解点検他	高	130M	—	14回	1次系逆止弁検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （○内は適用する 設備診断技術） [別紙－1]
原子力設備 [その他設備]	クラス1機器（供用期間中検査対象） （重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む）	1式	高	10Y	○	15回	クラス1機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙－1]
				1F	○	15回	クラス1機器供用期間中検査	
	クラス2機器（供用期間中検査対象） （重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む）	1式	高	10Y	○	15回	クラス2機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙－2]
				10Y	○	15回	クラス2機器供用期間中検査	
	クラス3機器（供用期間中検査対象）	1式	高	10Y	○	15回	クラス3機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙－3]
				10Y	○	15回	クラス3機器供用期間中検査	
	クラス1機器Ni基合金使用部位 （重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む）	1式	高	5Y	○	15回	供用期間中特別検査のうち クラス1機器Ni基合金使用 部位特別検査	ISIプログラムによる。 [別紙－4]
				25%/10Y	○	15回	供用期間中特別検査のうち クラス2管（原子炉格納容 器内）特別検査	
	クラス2管（原子炉格納容器内） （重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む）	1式	高	5～10Y	○	15回	重大事故等クラス2機器供 用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙－5]
				10Y	○	15回	重大事故等クラス2機器供 用期間中検査	
	重大事故等クラス2機器	1式	高	10Y	－	－	重大事故等クラス3機器供 用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙－8] 16回施設設定検時から設定 排気筒については5Fで実 施
				100%/10Y	○	15回	構造健全性検査	
	クラス3・クラス4の配管等	1式	高	13M	○	15回	構造健全性検査	
				1F	○	15回	レストレイント検査	
	RCPBのベント・ドレン弁シート部 1次冷却材管ホィップレストレイント	84箇所	高	1F	○	15回	レストレイント検査	
				1F	○	15回	レストレイント検査	
原子力設備・タービン設備 [その他設備]	主蒸気配管ホィップレストレイント 主給水配管ホィップレストレイント	4箇所	高	1F	○	15回	レストレイント検査	
				1F	○	15回	レストレイント検査	
	原子力設備 [その他設備] その他の弁	1式	高・低	B	○	15回	1次系弁検査	
				65M～260M 78M～130M	○	15回		
	原子力設備 [その他設備] その他の弁	1式	高・低	B	○	15回		
				65M～130M 13M～130M	○	15回		
	原子力設備 [その他設備] その他の機器	1式	高	13M～130M	○	15回		一部BMあり
				13M～130M	○	15回		
	耐震クラスS、Bの支持構造物	1式	低	13M～130M	○	15回		クラス1，2，3供用期間 中検査対象機器を除く
				100%/10Y	○	15回	耐震健全性検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術） 14回定検時に蒸気タービン取替実施
蒸気タービン 〔車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸〕	高圧タービン	1. 開放点検	高	26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	14回定検時に蒸気タービン取替実施
		2. 組立状況点検		26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M	○	15回		
	第1 低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	—	15回	蒸気タービン開放検査	14回定検時に蒸気タービン取替実施
		2. 外観点検		2F	○	12回	蒸気タービン開放検査	
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M	○	15回		
	第2 低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	14回定検時に蒸気タービン取替実施
		2. 外観点検		2F	—	15回	蒸気タービン開放検査	
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M	○	15回		
	第3 低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	—	15回	蒸気タービン開放検査	14回定検時に蒸気タービン取替実施
		2. 外観点検		2F	○	12回	蒸気タービン開放検査	
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M	○	15回		
	ロータライメント	1. 組立状況点検	高	B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		1. 外観点検		1F	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
	MSV-1	2. 組立状況点検	高	B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
	MSV-2	1. 開放点検	高	13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
	MSV-3	2. 組立状況点検	高	B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
	MSV-4	1. 開放点検	高	13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
	GOV-1	2. 組立状況点検	高	B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
	GOV-2	1. 開放点検	高	13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
	GOV-3	2. 組立状況点検	高	B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
	GOV-4	1. 開放点検	高	13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
	A1 再熟蒸気止め弁	1. 開放点検	高	26M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検		26M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
	A2 再熟蒸気止め弁	2. 組立状況点検	高	26M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検		26M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		26M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
	A3 再熟蒸気止め弁	1. 開放点検	高	26M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		26M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検		26M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
	B1 再熟蒸気止め弁	2. 組立状況点検	高	26M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検		26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	
	B2 再熟蒸気止め弁	1. 開放点検	高	26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検		26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	
	B3 再熟蒸気止め弁	2. 組立状況点検	高	26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検		26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
蒸気タービン 〔調速装置及び非常調速装置並び に調速装置で制御される主要弁〕	A 1 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
	A 2 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	
	A 3 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
	B 1 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
	B 2 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	
	B 3 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	
	復水・循環水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	15回	蒸気タービン附属設備機能 検査	
	復水器	1. 開放点検	高	13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
	復水器 1 A	1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M	—	14回		
		2. 開放点検 (漏えい試験)		78M	—	14回		
蒸気タービン 〔復水器〕	復水器 2 A	1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M	—	13回		
		2. 開放点検 (漏えい試験)		78M	—	13回		
	復水器 3 A	1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M	—	12回		
		2. 開放点検 (漏えい試験)		78M	—	12回		
	復水器 1 B	1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M	○	11回		
		2. 開放点検 (漏えい試験)		78M	○	11回		
	復水器 2 B	1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M	—	13回		
		2. 開放点検 (漏えい試験)		78M	—	14回		
	復水器 3 B	1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M	—	15回		
		2. 開放点検 (漏えい試験)		78M	—	15回		
A 循環水ポンプ・電動機	A 循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	15回		
		2. 分解点検 (電動機)		65M	—	15回		
		3. 簡易点検 (翼油導入装置点検 ポンプ)		26M	—	15回		
	B 循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	○	14回		
		2. 分解点検 (電動機)		65M	○	14回		
		3. 簡易点検 (翼油導入装置点検 ポンプ)		26M	○	15回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術) (振動診断: 6 M)
蒸気タービン 〔復水器〕	A 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	15回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回		
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	○	14回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回		
	A 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	15回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	13回		
	B 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	15回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回		
	C 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	15回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回		
	蒸気タービン〔復水器〕 その他機器	1. 分解点検他	高	13M～260M	○	15回		
		2. 分解点検他	低	13M～130M	○	15回		一部BMあり
	A 湿分分離加熱器 (胴側)	1. 開放点検	高	26M	—	15回	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検	高	130M	—	13回	蒸気タービン開放検査	
	B 湿分分離加熱器 (胴側)	2. 非破壊試験		130M	—	13回		
		3. 漏えい試験		130M	—	13回		
	A 第1 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検	高	130M	—	14回	蒸気タービン開放検査	
	B 第1 低圧給水加熱器	2. 非破壊試験		130M	—	14回		
		3. 漏えい試験		130M	—	14回		
	C 第1 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	14回	2次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	9回		
	A 第2 低圧給水加熱器	3. 漏えい試験	高	65M	—	14回		
		1. 開放点検	高	65M	—	15回	2次系熱交換器検査	
	B 第2 低圧給水加熱器	2. 非破壊試験		130M	—	10回		
		3. 漏えい試験		65M	—	15回		
	C 第2 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	11回	2次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	11回		
	A 第2 低圧給水加熱器	3. 漏えい試験	高	65M	○	11回		
		1. 開放点検	高	65M	—	14回	2次系熱交換器検査	
	B 第2 低圧給水加熱器	2. 非破壊試験		130M	—	14回		
		3. 漏えい試験		65M	—	14回		
	C 第2 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	15回	2次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	15回		
	A 第2 低圧給水加熱器	3. 漏えい試験	高	65M	—	15回		
		1. 開放点検	高	65M	○	11回	2次系熱交換器検査	
	B 第2 低圧給水加熱器	2. 非破壊試験		130M	○	9回		
		3. 漏えい試験		65M	○	11回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換 器〕	A 第3 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	12回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	12回		
		3. 漏えい試験		65M	—	12回		
	B 第3 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	13回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	13回		
		3. 漏えい試験		65M	—	13回		
	A 第4 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	12回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	9回		
		3. 漏えい試験		65M	—	12回		
	B 第4 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	13回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	9回		
		3. 漏えい試験		65M	—	13回		
	A 第5 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	14回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	9回		
		3. 漏えい試験		65M	—	14回		
	B 第5 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	15回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	10回		
		3. 漏えい試験		65M	—	15回		
	脱気器タンク	1. 開放点検	高	39M	—	14回	2 次系容器検査	
		2. 非破壊試験		39M	○	13回	2 次系容器検査	
		3. 漏えい試験		39M	—	14回	2 次系容器検査	
	A 脱気器	1. 開放点検	高	39M	—	14回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	14回		
		3. 漏えい試験		130M	—	14回		
	B 脱気器	1. 開放点検	高	130M	—	14回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	14回		
		3. 漏えい試験		130M	—	15回		
	A 第7 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	14回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	14回		
		3. 漏えい試験		130M	—	14回		
	B 第7 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	15回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	15回		
		3. 漏えい試験		130M	—	15回		
	グラインド蒸気復水器	1. 開放点検	高	130M	—	15回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		65M	—	13回		
		3. 漏えい試験		130M	—	9回		
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ボ ンプ及び貯水設備並びに給水処理 設備〕	給水、復水系	1. 機能・性能試験 (タービン)	高	1F	—	13回	蒸気タービン附属設備機能 検査	
		2. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)		1F	○	15回		
		3. 漏えい試験		1F	—	13回		
	A タービン動主給水ポンプ・タービン	1. 機能・性能試験 (タービン)	高	B	○	14回	2 次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 (タービン)		52M	○	14回		
		3. 分解点検 (タービン)		52M	○	14回	2 次系ポンプ分解検査	
	A タービン動主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	13回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回		
		3. 簡易点検 (ポンプ)		13M	○	15回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	Bタービン動主給水ポンプ・タービン	1. 機能・性能試験 (タービン)	高	B	—	15回	2次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	—	15回		
		3. 分解点検 (タービン)		52M	—	15回	2次系ポンプ分解検査	
	Bタービン動主給水ポンプ・スラストポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	15回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	10回		
		3. 簡易点検 (ポンプ)		13M	○	15回		
	電動主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	15回	2次系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検 (電動機)		52M	—	15回		
	電動主給水ポンプ・スラストポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	○	12回	2次系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回		
		3. 簡易点検 (ポンプ)		13M	○	15回		
	A復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	○	13回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	13回		
		3. 簡易点検 (ポンプ)		13M	○	15回		
	B復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	○	12回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回		
		3. 簡易点検 (ポンプ)		13M	○	15回		
	C復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	—	15回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回		
		3. 簡易点検 (ポンプ)		13M	○	15回		
	4 A 復水ろ過器	1. 開放点検	高	65M	—	15回	2次系容器検査	有効性評価 No. 19 の反映
		1. 開放点検		65M	—	15回	2次系容器検査	有効性評価 No. 19 の反映
		1. 開放点検		130M	—	12回	2次系容器検査	
	4 B 復水ろ過器	1. 開放点検	高	130M	—	13回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		130M	—	14回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		130M	—	9回	2次系容器検査	
	4 C 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	10回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		130M	—	11回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		130M	—	15回	2次系容器検査	
	4 D 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	13M～156M	○	15回		
		1. 開放点検		13M～130M	○	15回		
		1. 開放点検						
	4 E 復水脱塩塔	1. 開放点検	高					
		1. 開放点検						
		1. 開放点検						
	4 F 復水脱塩塔	1. 開放点検	高					
		1. 開放点検						
		1. 開放点検						
	蒸気タービン〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕その他機器	1. 分解点検他	低					
		2. 分解点検他						
	1式		低					
			低					

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等]	主な配管 (主蒸気系統・抽気系統・ドレン系統)	1. 開放点検 2. 非破壊試験	高	13M 肉厚管理指針による	○	15回	蒸気タービン開放検査	
	2次系配管等* (上記「蒸気タービン 主な配管」以外の主蒸気系統・給水系統・ 抽気系統・ドレン系統・復水系統・ その他の系統) *: 配管のほか、タービン、ポンプ、熱 交換器、弁等を含む	1. 外観点検* 2. 非破壊試験	高・低	10Y 肉厚管理指針による	○	15回	2次系配管検査 2次系配管検査	施設定検起動後
蒸気タービン [その他設備]	蒸気タービン及び附属設備		高	1F	○	15回	蒸気タービン性能検査	一部施設定検起動後
	蒸気タービン [その他設備] その他の弁	1. 保安装置点検 2. 負荷点検	高・低	1F	○	15回	総合負荷性能検査	施設定検起動後
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	B 13M～260M	○	15回	2次系安全弁検査	
		3. 分解点検 4. 簡易点検 (グラインドパッドパッキン取替)	低	13M～260M	○	15回		有効性評価 No. 13 の反映
			高・低	52M～130M	○	15回		
	蒸気タービン [その他設備] その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	B 52M～182M	○	15回		
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M	○	15回		
		1. 分解点検他 2. 分解点検他	高	13M～130M 13M～260M	○	15回		有効性評価 No. 14 の反映
	蒸気タービン [その他設備] その他AM(格納容器器内注水) 機器	1. 分解点検他	高	130M～182M	○	15回	1次系弁検査	一部BMあり
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	14回		
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用発電装置]	非常用ディーゼル発電機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査) 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)	
	非常用炉心冷却設備作動信号及び原子炉 格納容器スプレイ作動信号発信時に ディーゼル発電機に電源を求める機器	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用発電装置〕	Aディーゼル発電機	1. 分解点検他	高	13M～104M	○	15回		
	Aディーゼル機関	1. 分解点検他	高	13M～156M	○	15回		
	Aディーゼル機関のピストン、ピストン 連接棒、クランク軸	No. 1, 9	高	130M	—	10回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 2, 10	高	130M	—	12回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 3, 11	高	130M	—	14回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 4, 12	高	130M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5, 13	高	130M	○	9回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 6, 14	高	130M	—	11回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 7, 15	高	130M	—	13回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 8, 16	高	130M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 1-4, 9-12	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 1-4, 9-12	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 1-4, 9-12	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 1-4, 9-12	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 1-4, 9-12	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 1-4, 9-12	高	13M～104M	○	15回		
		No. 1-4, 9-12	高	13M～156M	○	15回		
Aディーゼル機関の吸気弁	Aディーゼル機関の排気弁	No. 1, 9	高	130M	—	10回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 2, 10	高	130M	—	12回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 3, 11	高	130M	—	14回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 4, 12	高	130M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5, 13	高	130M	○	9回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 6, 14	高	130M	—	11回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 7, 15	高	130M	—	13回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 8, 16	高	130M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 1-4, 9-12	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 1-4, 9-12	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
Bディーゼル発電機	Bディーゼル機関のピストン、ピストン 連接棒、クランク軸	No. 1, 9	高	130M	—	10回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 2, 10	高	130M	—	12回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 3, 11	高	130M	—	14回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 4, 12	高	130M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5, 13	高	130M	○	9回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 6, 14	高	130M	—	11回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 7, 15	高	130M	—	13回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 8, 16	高	130M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 1-4, 9-12	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 1-4, 9-12	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （○ 内は適用する 設備診断技術）
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用発電装置〕	Bディーゼル機関のシリンダカバー	No. 1-4, 9-12	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	Bディーゼル機関の吸気弁	No. 1-4, 9-12	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	Bディーゼル機関の排気弁	No. 1-4, 9-12	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	Bディーゼル機関の燃料噴射弁	No. 1-4, 9-12	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	ディーゼル発電機付属設備	No. 1-4, 9-12	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		1式	高	1F	○	15回	非常用予備発電機付属設備 検査	
				26M～130M	○	15回		
				26M～130M	○	15回		
				13M	○	15回	非常用予備発電機付属設備 検査	
				13M	○	15回		
	空冷式非常用発電装置			1F	○	15回	非常用予備発電機付属設備 検査	
				13M	○	15回	非常用予備発電機付属設備 検査	
		2台	高	1F	○	15回	その他非常用発電装置の機 能検査	平成23年9月に設置 定期事業者検査は16回施設 定検から実施
							その他非常用発電装置の付 属設備検査	有効性評価 No. 15 の反映
				120M	○	—		
				1F	○	—	可搬型代替電源設備検査	15回施設定検時に設置
				1F	○	—	可搬型代替電源設備検査	15回施設定検時に設置
	電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用） 電源車 重油タンク その他発電用原子炉の附属施設〔非常用 発電装置〕 その他の弁 その他発電用原子炉の附属施設〔非常用 発電装置〕 その他機器	2台	高	10Y	—	—		プラント運転中又は施設定 検停止中 15回施設定検時に設置
		1式	高・低	B	○	15回	非常用予備発電機付属設備 検査	
				26M～130M	○	15回		
			高	13M～130M	○	15回		
			低	13M～130M	○	15回		一部BMあり

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （○ 内は適用する 設備診断技術）
その他発電用原子炉の附属施設 〔その他の電源装置〕	直流電源装置蓄電池	2組 (60個/組)	高	1F	○	15回	直流電源系機能検査	
	計器用電源	4台	高	1F	○	15回	直流電源系作動検査	
		1式	高	26M	○	15回	インバータ機能検査	
	可搬型整流器	1個	高	1F	○	—		15回施設定検時に設置
			高	1F	○	—		
	可搬型バッテリー(加圧器逃がし弁用)	1個	高	1F	○	—		15回施設定検時に設置
			高	1F	○	—		
	その他発電用原子炉の附属施設 〔その他の電源装置〕	1式	高	13M～26M	○	15回		
	その他機器		低	26M	○	15回		
	発電機設備	1式	高	13M～104M	○	15回		
その他発電用原子炉の附属施設 〔常用電源設備〕	変圧器設備	1式	高・低	13M～78M	○	15回		
	しゃ断器	1式	高・低	52M～156M	○	15回		有効性評価 No.16 の反映
	その他発電用原子炉の附属施設 〔常用電源設備〕	1式	高	13M～156M	○	15回		
	その他機器		低	13M～104M	○	15回		
	煙等流入防止装置	1式	高	1F	○	—		15回施設定検時に設置
	その他発電用原子炉の附属施設 〔火災防護設備〕	1式	低	13M	○	—		15回施設定検時に設置
	その他機器							
	堰、浸水防止堰、伝播防止堰	1式	高	10Y	—	—		プラント運転中又は施設定 検停止中
	水密扉	1式	高	1Y	○	—		15回施設定検時に設置
	潮位計	1台	高	4F	○	15回	計測制御系監視機能検査	プラント運転中又は施設定 検停止中
その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護施設〕	A湧水サンプポンプ・電動機		低	B* 5Y	— —	— —	浸水防護設備検査	計測制御系監視機能検査 は、16回施設定検から実施
その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護施設〕	B湧水サンプポンプ・電動機		低	B* 5Y	— —	— —	浸水防護設備検査	B*:取替にあわせて実施 プラント運転中又は施設定 検停止中
								15回施設定検から設置

(45/45)

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する 設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護施設〕	その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護施設〕 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	—	—	浸水防護設備検査	浸水防護設備検査は、16回 施設定検から設定
			2. 分解点検		130M	—	—		
土木建築設備	その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護施設〕 その他機器	1式	1. 外観点検他	高・低	1F～10F	○	—		15回施設定検時に設置
		1式	1. 外観点検	高	1F	○	15回		
		1式	1. 外観点検	高・低	1Y	○	15回		
		1式	1. 外観点検	高	1F	○	15回		
プラント総合	原子炉及びその附属設備 (補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く)		1. 総合性能試験	高	1F	○	15回	総合負荷性能検査	プラント運転中又は施設定 検停止中 施設定検起動後
			1. 分解点検他	低	6M～72M	○	15回		
全般機器									プラント運転中又は施設定 検停止中

クラス1機器供用期間中検査10年計画

1. 原子炉容器(1/2)

維持規格 JSME S NA1-2008			大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)														備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回	
B2. 111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	全長の5%	1箇所	水中UT (内面)	100%	－	－	－	－	100%		－				(重大事故等クラス2機器)
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	全長の5%	1箇所	水中UT (内面)	100%	－	－	－	－	100%		－				(重大事故等クラス2機器)
		トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手	体積	全長の5%	1箇所	水中UT (内面)	100%	－	－	－	－	100%		－				(重大事故等クラス2機器)
B3. 105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	全長の100%	1箇所	水中UT (内面)	100%	－			－	100%		－				(重大事故等クラス2機器)
B3. 10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	全数の100%	4箇所	水中UT (内面)	各100%	－			－	A、B C、D		－				(重大事故等クラス2機器)
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	全数の100%	4箇所	水中UT (内面)	各100%	－			－	A、B C、D		－				(重大事故等クラス2機器)
B3. 20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	全数の100%	4箇所	水中UT (内面)	各100%	－			－	A、B C、D		－				出口管台内面は形状的に検査不可能 (重大事故等クラス2機器)
B5. 10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	全数の100%	4箇所	UT及びPT	各100%	－			－	A、B(PT) A、B C、D (水中UT)		－	C (PT)	D (PT)		(重大事故等クラス2機器)
		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	全数の100%	4箇所	UT及びPT	各100%	－	A (PT)		－	B、C(PT) A、B C、D (水中UT)	D (PT)		－			(重大事故等クラス2機器)
B6. 10	B-G-1	ナット	VT-1	全数の100%	54個	VT-1	100%	－	7	7	－	12	7	－	7	7	7	(重大事故等クラス2機器)
B6. 30	B-G-1	スタッドボルト	体積	全数の100%	54本	UT	100%	－	7	7	－	12	7	－	7	7	7	(重大事故等クラス2機器)
B6. 40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	全数の100%	54箇所	UT	可能範囲100%	－	18	18	－	－	18	－		18		ガイドスタッド近傍は検査不可能 (重大事故等クラス2機器)
B6. 50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	全数の100%	54個	VT-1	100%	－	7	7	－	12	7	－	7	7	7	(重大事故等クラス2機器)
B7. 10	B-G-2	T/Cハウジングのマーモクランブ用ボルト・ナット	VT-1	全数の25%	3箇所／1組×4組	VT-1	25% (1組)	－		1組 #66	－	－		－				(重大事故等クラス2機器)
G1. 10	G-P-1	原子炉容器内部	VT-3	全範囲の7.5% 各検査時期毎	1基	VT-3 (水中TV)	可能範囲100% 約3年毎	－		可能範囲100%	－	－	可能範囲100%	－		可能範囲100%		(重大事故等クラス2機器)
G1. 40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	全範囲の7.5%	6箇所	VT-3 (水中TV)	可能範囲100%	－			－		可能範囲100%	－				下部炉心構造物取出し時に実施 (重大事故等クラス2機器)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

1. 原子炉容器 (2/2)

別紙-1(2/11)

維持規格 JSME S NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)												備 考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回		2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回
G1. 40 G1. 50	G-P-1 G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%	1基	VT-3 (水中T V)	可能範囲 100%	—		可能範囲 100%	—			—				(重大事故等クラス2機器)
		下部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%	1基	VT-3 (水中T V)	可能範囲 100%	—		可能範囲 100%	—			—				下部炉心構造物取出し時に 実施 (重大事故等クラス2機器)
B14. 10	B-O	制御棒駆動ハウジングの溶 接継手(上部)	体積又は 表面	最外周 25%	最外周 20箇所 (全62箇所)	PT	最外周 可能範囲 25% (11箇所)	—	1	2	—	2	2	—	2	1	1	第11回 原子炉容器上蓋取替 に伴い上部を対象箇所として 追加 1.構造上UTは不可 2.上部は構造的に実施困難 (重大事故等クラス2機器)
		制御棒駆動ハウジングの溶 接継手(下部)			最外周 24箇所 (全66箇所)													
B15. 10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	—	○	○	—	○	○	—	○	○		(重大事故等クラス2機器)
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	全数の 25%	8箇所	VT-3	25% (2箇所)	—		B 出口側	—	D 出口側		—				但し、目視可能な範囲のみと する。 (重大事故等クラス2機器)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

2. 加圧器(1/2)

別紙-1(3/11)

維持規格 JSME S NA1-2008			大館発電所 第4号機 検査計画(10カ年)														備 考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年		2027年
								第一回	第16回	第17回	第一回	第18回	第19回	第一回	第20回	第21回		第22回
B2. 11	B-B	上部鏡板と上部胴との周継手	体積	全長の5%	1箇所	UT	5%	-	5%		-				-			(重大事故等クラス2機器)
		下部胴と下部鏡板との周継手	体積	全長の5%	1箇所	UT	5%	-		-				5%	-			(重大事故等クラス2機器)
B2. 12	B-B	上部胴の長手継手	体積	全長の10%	2箇所	UT	各10%	-	B5%	A10%	-		B5%	-	-			(重大事故等クラス2機器)
		中間胴の長手継手	体積	全長の10%	2箇所	UT	各10%	-		A10%	-			-	B10%			(重大事故等クラス2機器)
		下部胴の長手継手	体積	全長の10%	2箇所	UT	各10%	-			A10%	-			-		B10%	(重大事故等クラス2機器)
B2. 13	B-B	上部胴と中間胴との周継手	体積	全長の5%	1箇所	UT	5%	-		5%	-			-	-			(重大事故等クラス2機器)
		中間胴と下部胴との周継手	体積	全長の5%	1箇所	UT	5%	-				-	5%		-	-		(重大事故等クラス2機器)
B3. 30	B-D	安全弁用管台と容器との溶接継手	体積	全数の25%	3箇所	UT	全数の33% (2箇所)	-	スプレイ用管台	-	-	逃がし弁用管台	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手			1箇所													
		スプレイ用管台と容器との溶接継手			1箇所													
		サージ用管台と容器との溶接継手			1箇所													
B3. 40	B-D	安全弁用管台内面の丸みの部分	体積	全数の25%	3箇所	UT	全数の33% (2箇所)	-	スプレイ用管台	-	-	逃がし弁用管台	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分			1箇所													
		スプレイ用管台内面の丸みの部分			1箇所													
		サージ用管台内面の丸みの部分			1箇所													

クラス1機器供用期間中検査10年計画

2. 加圧器 (2/2)

別紙ー1 (4/11)

維持規格 JSME S NA1-2008			大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)														備 考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回		2027年 第22回
B5. 40	B-F	安全弁用管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び 表面	全数の 25%	3箇所	UT及び PT	33% (2箇所)	-			-	サージ 用管台 (UT・PT)	安全弁 用管台 A (UT・PT)	-				(重大事故等クラス2機器)
		逃がし弁用管台とセーフエンドとの溶接継手			1箇所													
		スプレイ用管台とセーフエンドとの溶接継手			1箇所													
		サージ用管台とセーフエンドとの溶接継手			1箇所													
B7. 20	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	全数の 25%	16本/ 1箇所× 1基	VT-1	25% (4本)	-		1	-	1	1	-		1		(重大事故等クラス2機器)
B8. 20	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカーツ溶接継手)	表面又は 体積	全長の 7.5%	1箇所	UT	7.5%	-			-	7.5%		-				(重大事故等クラス2機器)
B15. 20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	○	○	-	○	○	-	○	○	○	(重大事故等クラス2機器)
F1. 41	F-A	支持構造物(スカーツ、基礎ボルト含む)	VT-3	全数の 25%	1箇所/ 1基	VT-3	100%	-			-		100%	-				(重大事故等クラス2機器)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

3. 蒸気発生器 (1/1)

別紙ー1 (5/11)

維持規格 JSME S NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)												備 考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回	
B2. 40	B-B	管板と水室鏡板との溶接継手	体積	代表1基 全長の 25%	1箇所／ 1基×4 基	UT	代表1基 の25%	－	A 9%	－	－	A 8%	－	－	A 8%	－	－	
B3. 60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分	体積	代表1基 全長の 25%	1箇所／ 1基×4 基	UT	代表1基 の50% (1箇所／ 1基)	－	－	－	－	B 入口側	－	－	－	－	－	(重大事故等クラス2機器)
		冷却材出口管台の内面の丸みの部分			1箇所／ 1基×4 基			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
B5. 70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶 接継手	体積及び 表面	代表1基 全長の 25%	1箇所／ 1基×4 基	UT及び PT	代表1基の 50% (1箇所／1 基)	－	－	B (UT)	－	－	－	－	－	－	－	*1 (重大事故等クラス2機器)
		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶 接継手			1箇所／ 1基×4 基			－	－	B (UT)	－	－	－	－	－	－	－	－
B7. 30	B-G-2	1次側マンホールボルト(入口側)	VT-1	代表1基 全長の 25%	16本／ 1基×4 基	VT-1	代表1基 の50% (16本／1 基)	－	－	A 入口側 4本	－	A 入口側 6本	－	－	A 入口側 6本	－	－	(重大事故等クラス2機器)
		1次側マンホールボルト(出口側)			16本／ 1基×4 基			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
B8. 30	B-H	水室鏡とサポートパッドとの溶接継手	表面	代表1基 全長の 7.5%	4箇所／ 1基×4 基	PT	代表1基 の25% (1箇所／ 1基)	－	－	A1	－	－	－	－	－	－	－	(重大事故等クラス2機器)
B15. 30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	－	○	○	－	○	○	－	○	○	○	(重大事故等クラス2機器)
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基 の25%	4箇所／ 1基×4 基	VT-3	代表1基の 100% (4箇所)	－	－	－	－	A4	－	－	－	－	－	(重大事故等クラス2機器)

*1: 検査方法のうちUTについては、NISA文書「定期事業者検査における超音波探傷試験の代替措置計画策定について」の検査対象

4. 配管(1/4)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

別紙ー1(6/11)

維持規格 JSME S NA1-2008			大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)														備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第18回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回			
B7. 50	B-G-2	直径50mm 以下の圧 力保持用 ボルト締 め付け部	VT-1	全数の 25%	4組／ 1箇所 ×4箇所	VT-1	25% (1箇所)	-			-		1	-						
B9. 11	B-J	1次冷却材管	体積	全数の 25%	48箇所	UT	25% (12箇所)	-	2 A	3 B, C	-	2 A, C	1 B	-	2 C, D	1 D	1 D	(重大事故等クラス2機器)		
		加圧器サージライン	体積	全数の 25%	8箇所	UT	25% (2箇所)	-	1			-	1	-				(重大事故等クラス2機器)		
		加圧器安全弁ライン	体積	全数の 25%	27箇所	UT	25% (7箇所)	-	1	1	1	-	1	1	-	2 C, D	1 D	3	(重大事故等クラス2機器)	
		加圧器逃がし弁ライン	体積	全数の 25%	6箇所	UT	33% (2箇所)	-		1	-	1	1	-				(重大事故等クラス2機器)		
		加圧器スプレイライン	体積	全数の 25%	43箇所	UT	25% (11箇所)	-	1	3	-	2	1	-	2	1	1	1		
		余熱除去ポンプ入口ライン	体積	全数の 25%	32箇所	UT	25% (8箇所)	-	1	2	-	-	1	1	-	1	1	1	(重大事故等クラス2機器)	
		SIS蓄圧注入ライン	体積	全数の 25%	56箇所	UT	25% (14箇所)	-	2	3	-	-	3	1	-	2	2	1	(重大事故等クラス2機器)	
		SIS高温側低圧注入ライン	体積	全数の 25%	22箇所	UT	27% (6箇所)	-	1	1	1	-	-	2	-	1		1		
		SIS低温側低圧注入ライン	体積	全数の 25%	12箇所	UT	25% (3箇所)	-	1			-	1		-			1	(重大事故等クラス2機器)	
		加圧器逃がし弁ライン	表面	全数の 25%	12箇所	PT	25% (3箇所)	-	1			-		1	-		1		(重大事故等クラス2機器)	
B9. 21	B-J	加圧器補助スプレイライン	表面	全数の 25%	14箇所	PT	28% (4箇所)	-	1		-	-	2	-	1					
		抽出及びドレンライン	表面	全数の 25%	32箇所	PT	25% (8箇所)	-	1	2	-	1	1	-	1	1	1			
		CVC/S充てんライン	表面	全数の 25%	10箇所	PT	30% (3箇所)	-		1		1	1	-	1				(重大事故等クラス2機器)	
		CVC/S赤てんライン 閉止分岐管	表面	全数の 25%	1箇所	PT	100% (1箇所)	-			-	-		-	-			1		
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	全数の 25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-			-	-		-	-			1	(重大事故等クラス2機器)	
		1次冷却材ポンプ封水注入 ライン	表面	全数の 25%	11箇所	PT	27% (3箇所)	-	1	1		-		-	-			1		
		SIS高温側高圧補助注入 ライン	表面	全数の 25%	29箇所	PT	27% (8箇所)	-	1	1		-	1	1	-	1	2	1		
		SIS低温側高圧補助注入 ライン	表面	全数の 25%	6箇所	PT	33% (2箇所)	-		1		-			-				(重大事故等クラス2機器)	

クラス1機器供用期間中検査10年計画

4. 配管(2/4)

別紙-1(7/11)

維持規格 JSME S NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)														備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回	
B9. 31	B-J	母管と管台との 溶接継手(呼び 径 100A以上)	体積	全数の 25%	9箇所	UT	33% (3箇所)	—	1		—		1	—		1		
		1次冷却材管							1	3	—	1	1	—	1	1		(重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	全数の 25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	—			—			—		1		(重大事故等クラス2機器)
B9. 32	B-J	SIS蓄圧注入ライン	表面	全数の 25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	—		1	—			—				(重大事故等クラス2機器)
		SIS高温側低圧注入ライン	表面	全数の 25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	—			—	1		—				
		SIS低温側低圧注入ライン	表面	全数の 25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	—			—			—		1		(重大事故等クラス2機器)
		1次冷却材管	表面	全数の 25%	24箇所	PT	25% (6箇所)	—	1	2	—	1		—	1		1	
		加圧器補助スプレイライン	表面	全数の 25%	6箇所	PT	33% (2箇所)	—	1		—		1	—				
		抽出及びドレンライン	表面	全数の 25%	6箇所	PT	33% (2箇所)	—		1	—		1	—				
B9. 40	B-J	ソケット溶接 継手	表面	全数の 25%	62箇所	PT	25% (16箇所)	—	2	4	—	3	2	—	1	2	2	
		1次冷却材ポンプ封水注入ライン	表面	全数の 25%	30箇所	PT	26% (8箇所)	—	2	2	—	1	1	—	1	1		
		SIS高温側高圧補助注入ライン	表面	全数の 25%	16箇所	PT	25% (4箇所)	—		1	—			—	1	1		(重大事故等クラス2機器)
		SIS低温側高圧補助注入ライン	表面	全数の 25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	—			—			—				
B10. 20	B-K	耐圧部分への 支持部材 取付け溶接 継手	表面	全数の 25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	—			—			—	1			(重大事故等クラス2機器)
B15. 50	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	—	○	○	—	○	○	—	○	○	○	(重大事故等クラス2機器)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

4. 配管(3/4)

別紙ー1(8/11)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)														備考				
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回	備考		
F1. 10	F-A	支持構造物	加圧器サージライン	VT-3	全数の 25%	7箇所	VT-3	28% (2箇所)	-	1		-	1		-				(重大事故等クラス2機器)	
			加圧器逃がし弁ライン	VT-3	全数の 25%	10箇所	VT-3	30% (3箇所)	-	1		-	1		-	1			(重大事故等クラス2機器)	
			加圧器スプレイライン	VT-3	全数の 25%	61箇所	VT-3	26% (16箇所)	-	2	3		-	2	3	-	2		4	
			加圧器補助スプレイライン	VT-3	全数の 25%	30箇所	VT-3	26% (8箇所)	-	2	2		-	1		-	1	1	1	
			抽出及びドレンライン	VT-3	全数の 25%	23箇所	VT-3	26% (6箇所)	-	1	1		-	1		-		2	1	
			CVCS充てんライン	VT-3	全数の 25%	5箇所	VT-3	40% (2箇所)	-		1		-			1	-			(重大事故等クラス2機器)
			1次冷却材ポンプ封水 注入ライン	VT-3	全数の 25%	27箇所	VT-3	25% (7箇所)	-	1	2		-	1		-	1	1	1	
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	全数の 25%	24箇所	VT-3	25% (6箇所)	-		2		-	1	1	-	1	1		(重大事故等クラス2機器)
			SIS蓄圧注入ライン	VT-3	全数の 25%	30箇所	VT-3	26% (8箇所)	-	1	1		-	2	1	-	-	1	2	(重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側低圧注入ライン	VT-3	全数の 25%	12箇所	VT-3	25% (3箇所)	-		1		-		1	-	1			
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	全数の 25%	10箇所	VT-3	30% (3箇所)	-		1		-	1		-	1			(重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側高圧補助 注入ライン	VT-3	全数の 25%	46箇所	VT-3	26% (12箇所)	-	1	5		-	1	1	-	2	2		
			SIS低温側高圧補助 注入ライン	VT-3	全数の 25%	12箇所	VT-3	25% (3箇所)	-		1		-			-		1		(重大事故等クラス2機器)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

5. 1次冷却材ポンプ(1/1)

別紙ー1(9/11)

維持規格 JSME S NA1-2008			大阪発電所 第4号機 検査計画(10年)												備考													
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年		2026年		2027年		
								第一回	第二回	第一回	第二回	第一回	第二回	第一回		第二回	第一回	第二回	第一回	第二回	第一回	第二回	第一回	第二回	第一回	第二回	第一回	第二回
B6. 180		主フランジボルト	体積	代表1台の 25%	24本／ 1台×4台	UT	代表1台の 25% (6本／1台)	-	B 6						-													(重大事故等クラス2機器)
B6. 190	B-G-1	主フランジ表面	VT-1	代表1台の 25%	24箇所／ 1台×4台	VT-1	代表1台の 25% (6箇所／1台)	-	B 6						-													ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)
B6. 200		主フランジナット・ワッシャ	VT-1	代表1台の 25%	24組／ 1台×4台	VT-1	代表1台の 25% (6組／1台)	-	B 6						-													(重大事故等クラス2機器)
B12. 20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の 100%	4台	VT-3	代表1台の 100% (1台)	-	B 可能範囲						-													ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)
B15. 60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	O	O					-				O	O				O	O			(重大事故等クラス2機器)
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1台の 25%	3箇所／ 1台×4台	VT-3	代表1台の 100% (3箇所／1台)	-		A3					-													(重大事故等クラス2機器)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

6. 弁(1/2)

別紙-1(10/11)

維持規格 JSME S NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)												備考							
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回					
B7. 70 B-G-2	直径50mm 以下の圧 力保持用ボ ルブ線付付 部	加圧器安全弁ライン	VT-1	代表1台 の25%	3台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-	4V-RC-055		-			-				4V-RC-055 4V-RC-056 (重大事故等クラス2機器)				
		加圧器逃がし弁ライン	VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-	4V-RC-054B		-			-				4V-RC-054A・B (重大事故等クラス2機器)				
			VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-			-	4PCV-452B		-				4PCV-452A・B (重大事故等クラス2機器)				
			VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-		4PCV-451A	-			-				4PCV-451A・B (重大事故等クラス2機器)				
		加圧器補助スプレイライン	VT-1	代表1台 の25%	1台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-		4V-CS-169	-			-					4V-CS-169			
		抽出及びドレンライン	VT-1	代表1台 の25%	1台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-		4V-RC-017	-			-						4V-RC-017		
			VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-				-	4LCV-451	-						4LCV-451 4LCV-452		
			VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-				-	4V-CS-164		-					4V-CS-164, 4V-CS-166 (重大事故等クラス2機器)		
			VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-				-	4PCV-420		-					4PCV-420, 4PCV-430 4V-RH-002A・B (重大事故等クラス2機器)		
		SIS蓄圧注入ライン	VT-1	代表1台 の25%	8台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-				-			-	4V-SI-134C				4V-SI-134A・B・C・D 4V-SI-136A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)		
SIS高温側低圧注入ライン	VT-1	代表1台 の25%	4台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-				-			-			4V-RH-051B			4V-RH-051A・B 4V-SI-082B・C			
B12. 50 B-M-2	呼び径 100Aを超 える弁種	SIS低温側低圧注入ライン	VT-1	代表1台 の25%	4台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-			-			-			4V-RH-050D			4V-RH-050A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)		
		加圧器安全弁ライン	VT-3	代表1台 の100%	3台	VT-3	代表1台 の100% (1台)	-		4V-RC-055	-			-					4V-RC-055, 4V-RC-056 (重大事故等クラス2機器)			
		余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	代表1台 の100%	2台	VT-3	代表1台 の100% (1台)	-			-	4PCV-420		-					4PCV-420, 4PCV-430 4V-RH-002A・B (重大事故等クラス2機器)			
		SIS蓄圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	8台	VT-3	代表1台 の100% (1台)	-		4V-SI-134B	-			-					4V-SI-134A・B・C・D 4V-SI-136A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)			
		SIS高温側低圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	4台	VT-3	代表1台 の100% (1台)	-			-			4V-RH-051A	-				4V-RH-051A・B 4V-SI-082B・C			
		SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	4台	VT-3	代表1台 の100% (1台)	-		4V-RH-050D	-			-						4V-RH-050A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)		
		圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-		○	○	-		○	○	-		○	○			(重大事故等クラス2機器)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

6. 弁 (2/2)

維持規格 JSME S NA1-2008			大阪発電所 第4号機 検査計画 (10カ年)												備考				
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回	備考	
F1. 41	F-A	加圧器安全弁ライン	VT-3	代表1台 の25%	1箇所/ 1台 ×3台	VT-3	代表1台 の100% (1箇所)	—		4V-RC-055 1	—			—				4V-RC-055、4V-RC-056 4V-RC-057 (重大事故等クラス2機器)	
			VT-3	代表1台 の25%	2箇所/ 1台 ×2台	VT-3	代表1台 の100% (2箇所)	—		4V-RC-054B 2	—			—				4V-RC-054A・B (重大事故等クラス2機器)	
			VT-3	代表1台 の25%	2箇所/ 1台 ×2台	VT-3	代表1台 の100% (2箇所)	—			4PCV-452A 2			—				4PCV-452A・B (重大事故等クラス2機器)	
		加圧器スプレイライン	VT-3	代表1台 の25%	2箇所/ 1台 ×1台	VT-3	代表1台 の100% (2箇所)	—				—			4PCV-451B 2	—			4PCV-451A・B
			VT-3	代表1台 の25%	1箇所/ 1台 ×1台	VT-3	代表1台 の100% (1箇所)	—				—			—	4V-CS-169 1			4V-CS-169
			VT-3	代表1台 の25%	2箇所/ 1台 ×2台	VT-3	代表1台 の100% (2箇所)	—				—				—		4LCV-452 2	4LCV-451 4LCV-452
		抽出及びドレンライン	VT-3	代表1台 の25%	1箇所/ 1台 ×4台	VT-3	代表1台 の100% (1箇所)	—				—			—			4PCV-420、4PCV-430 4V-RH-002A・B (重大事故等クラス2機器)	
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	代表1台 の25%	1箇所/ 1台 ×4台	VT-3	代表1台 の100% (1箇所)	—				—			—			4PCV-420 1	

別紙-1(11/11)

別紙-1(11/11)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 余熱除去冷却器

維持規格 JSME S NA1-2008			大館発電所 第4号機 検査計画(10年間)													備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年 第15回	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回		2021年 第一回	2022年 第18回
C1. 10	C-A	管側胴と管側フランジとの溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/1 基×2基	UT	代表1基の 7.5%	A 7.5%					—			—		(重大事故等クラス2機器)
C1. 20	C-A	管側鏡板と管側胴との溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/1 基×2基	UT	代表1基の 7.5%						—			—	A 7.5%	(重大事故等クラス2機器)
C2. 21	C-B	管側入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/1 基×2基	UT及び PT	代表1基の 50% (1箇所/1基)				A 入口側					—		(重大事故等クラス2機器)
		1箇所/1 基×2基																
C4. 10	C-D	全ねじボルト	体積	代表1基 全長の 7.5%	48本/1基 ×2基	UT	代表1基の 100% (48本/1基)				A 16本		—	A 16本	A 16本	—		(重大事故等クラス2機器)

別紙-2(1/10)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

2. 配管(1/3)

別紙ー2(2/10)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考
								2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
								第15回	第15回	第15回	第15回	第15回	第15回	第16回	第17回	第18回	第18回	
C3. 20	C-C	配管支持部 材取付け溶 接継手	高圧注入ポンプ出口ライン	全数の 7.5%	6箇所	PT	16% (1箇所)	1					—			—		(重大事故等クラス2機器)
			高圧注入ポンプ出口連絡 ライン	全数の 7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)						—	1		—		(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去ポンプ入ロライン	全数の 7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)						—	1		—		(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去冷却器出口ライン	全数の 7.5%	1箇所	PT	100% (1箇所)						—		1	—		(重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側低圧注入ライン	全数の 7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)						—	1		—		
			SIS低温側低圧注入ライン	全数の 7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)						—			—	1	(重大事故等クラス2機器)
C5. 11	C-F	呼び径100A を超える管 で公称厚さ が9.5mmを 超える溶接 継手	格納容器再循環サンプ出口 ライン	全数の 7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)						—			—	1	(重大事故等クラス2機器)
			充てんポンプ出口ライン	全数の 7.5%	4箇所	UT及び PT	25% (1箇所)			1			—			—		(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去ポンプ入ロライン	全数の 7.5%	64箇所	PT	7.8% (5箇所)	1		1			—	1	1	—	1	(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去ポンプ出口ライン	全数の 7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)						—	1		—		(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去冷却器出口ライン	全数の 7.5%	44箇所	UT及び PT	9% (4箇所)	1					—	2	1	—		(重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側低圧注入ライン	全数の 7.5%	16箇所	UT及び PT	12% (2箇所)	1					—	1		—		
			SIS低温側低圧注入ライン	全数の 7.5%	24箇所	UT及び PT	8% (2箇所)			1			—			—	1	(重大事故等クラス2機器)
			高圧注入ポンプ出口ライン	全数の 7.5%	40箇所	UT及び PT	7.5% (3箇所)			1			—	1		—	1	(重大事故等クラス2機器)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

2. 配管(2/3)

別紙-2(3/10)

維持規格 JSME S NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備 考				
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回
C5. 11	C-F	呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手	格納容器再循環サンプ出口ライン	全数の7.5%	2箇所	—	—						—			—	全箇所、格納容器貫通部のため検査不可 (重大事故等クラス2機器)
			燃料取替用水ピット出口ライン	全数の7.5%	6箇所	PT	16% (1箇所)	1					—			—	
C5. 12	C-F		余熱除去ポンプ入口ライン	全数の7.5%	6箇所	PT	16% (1箇所)						—	1		—	(重大事故等クラス2機器)
			燃料取替用水ピット出口ライン	全数の7.5%	4箇所	PT	25% (1箇所)						—	1		—	(重大事故等クラス2機器)
			高圧注入ポンプ出口ライン	全数の7.5%	44箇所	PT	9% (4箇所)	1					—	1	1	—	(重大事故等クラス2機器)
C5. 21	C-F	呼び径50A以上100A以下の管で公称厚さが5mmを超える溶接継手	封水注入ライン	全数の7.5%	12箇所	PT	8% (1箇所)			1			—			—	
			高圧注入ポンプ出口連絡ライン	全数の7.5%	17箇所	PT	11% (2箇所)						—	1		—	1
			SIS低温側高圧補助注入ライン	全数の7.5%	40箇所	PT	10% (4箇所)			1			—	1	1	—	(重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側高圧補助注入ライン	全数の7.5%	27箇所	PT	11% (3箇所)			1			—	1		—	1
			封水注入ライン	全数の7.5%	19箇所	PT	10% (2箇所)			1			—			—	1
C5. 30	C-F	ソケット溶接継手	SIS低温側高圧補助注入ライン	全数の7.5%	20箇所	PT	10% (2箇所)						—	1	1	—	(重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側高圧補助注入ライン	全数の7.5%	20箇所	PT	10% (2箇所)	1					—			—	1
C5. 41	C-F	呼び径50Aを超える母管と管台及び母管と枝管との溶接継手	高圧注入ポンプ出口ライン	全数の7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)						—		1	—	(重大事故等クラス2機器)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

2. 配管(3/3)

別紙-2(4/10)

維持規格 JSME S NA1-2008			大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)												備考							
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年					
F1. 21	F-A	支持構造物	充てんポンプ出口ライン	全数の 7. 5%	1箇所	VT-3 (1箇所)	100% (1箇所)	1						1				(重大事故等クラス2機器)				
			余熱除去ポンプ入口ライン	全数の 7. 5%	47箇所	VT-3 (4箇所)	8% (4箇所)			2					1			1	(重大事故等クラス2機器)			
			余熱除去ポンプ出口ライン	全数の 7. 5%	15箇所	VT-3 (2箇所)	13% (2箇所)								1			1	(重大事故等クラス2機器)			
			余熱除去冷却器出入口ライン	全数の 7. 5%	20箇所	VT-3 (2箇所)	10% (2箇所)								1	1				(重大事故等クラス2機器)		
			余熱除去冷却器出口ライン	全数の 7. 5%	43箇所	VT-3 (4箇所)	9% (4箇所)			1					1	1			1	(重大事故等クラス2機器)		
			余熱除去冷却器バイパスライン	全数の 7. 5%	4箇所	VT-3 (1箇所)	25% (1箇所)									1						
			SIS高温側低圧注入ライン	全数の 7. 5%	2箇所	VT-3 (1箇所)	50% (1箇所)									1						
			SIS低温側低圧注入ライン	全数の 7. 5%	8箇所	VT-3 (1箇所)	12% (1箇所)									1				(重大事故等クラス2機器)		
			高圧注入ポンプ出口ライン	全数の 7. 5%	42箇所	VT-3 (4箇所)	9% (4箇所)	1								1	1			1	(重大事故等クラス2機器)	
			封水注入ライン	全数の 7. 5%	21箇所	VT-3 (2箇所)	9% (2箇所)				1						1					
			高圧注入ポンプ出口連絡ライン	全数の 7. 5%	11箇所	VT-3 (1箇所)	9% (1箇所)										1				(重大事故等クラス2機器)	
			SIS高温側高圧補助注入ライン	全数の 7. 5%	14箇所	VT-3 (2箇所)	14% (2箇所)										1			1		
			SIS低温側高圧補助注入ライン	全数の 7. 5%	47箇所	VT-3 (4箇所)	8% (4箇所)	1													1	(重大事故等クラス2機器)
			格納容器再循環サンプ出口ライン	全数の 7. 5%	16箇所	VT-3 (2箇所)	12% (2箇所)						1					1				(重大事故等クラス2機器)
			燃料取替用水ピット出口ライン	全数の 7. 5%	8箇所	VT-3 (1箇所)	12% (1箇所)	1														(重大事故等クラス2機器)

別紙-2(4/10)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

3. 充てんポンプ

維持規格 JSME S NA1-2008																		大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年			2014年			2015年 第15回			2016年			2017年			2018年 第一回			2019年 第16回			2020年 第17回			2021年 第一回			2022年 第18回																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

4. 充てんポンプ(往復動式)

		維持規格 JSME S NA1-2008		大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)												備 考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年		2021年	2022年
								第15回				第一回	第16回	第17回	第18回			
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	全数の 7.5%	1箇所/ 1台	VT-3	100% (1箇所/1 台)						—	100%		—		(重大事故等クラス2機器)

5. 余熱除去ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2008			大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考															
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年		2014年		2015年 第15回		2016年		2017年		2018年 第一回		2019年 第16回		2020年 第17回		2021年 第一回		2022年 第18回		
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	2箇所/1 台×2台	PT	代表1台の 50%(1箇所 /1台)						A 1箇所						—				—					(重大事故等クラス2機器)
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/1 台×2台	VT-3	代表1台の 100%(2箇所 /1台)											—		A 100%			—					(重大事故等クラス2機器)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

6. クラス2弁

維持規格 JSME S NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)													備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年 第15回	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第16回 4HCV- 603 2	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回		
F1.43	F-A	余熱除去冷却器 出入口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/1 台×2台	VT-3	代表1台の 100%(2箇 所/1台)						—	4HCV- 603 2		—		4HCV-603、4HCV-613 (重大事故等クラス2機器)	
							代表1台の 100%(2箇 所/1台)							—	4V-RH- 043B 2		—		4V-RH-043A・B (重大事故等クラス2機器)
		支持構造物 バイパスライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/1 台×2台	VT-3	代表1台の 100%(2箇 所/1台)						—	4FCV- 614 2		—		4FCV-604、4FCV-614	
							代表1台の 100%(1箇 所/1台)						4V-SI- 026A 1		—		—		4V-SI-026A・B
		格納容器再循環 サンプ出入口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/1 台×2台	VT-3	代表1台の 100%(2箇 所/1台)						—			—	—	4V-SI- 093A 2	4V-SI-093A・B (重大事故等クラス2機器)

別紙-2(6/10)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

7. クラス2機器漏えい検査(1/4)

別紙-2(7/10)

維持規格 JSME S NA1-2008			検査の対象箇所		大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考			
項目番号	カテゴリ	系統名	ライン名	運転圧力又は最高使用圧力(MPa)	検査圧力(MPa)	検査方法	2013年	2014年	2015年 第15回	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回		
C7. 30 C7. 70	C-H	1次冷却材系統	加圧器逃がしタンクPMW供給ライン	0.98	0.98	VT-2			●				-		-			
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	化学体積制御系統	抽出ライン(1)	15.41	15.41	VT-2							-	○		-	RCS漏えい検査時実施	
			抽出ライン(2)	2.06	2.06	VT-2								-	○			
			抽出ライン(3)	0.34	0.34	VT-2								-	○			
			体積制御タンク入ロライン	0.27	0.27	VT-2 ● ※1								-				
			体積制御タンク及び出入ロライン	0.11	0.11	VT-2					●			-				一部気圧検査
			A充てんポンプ出口ライン及び封水注入ライン	18.0	18.0	VT-2								-	○			
			B充てんポンプ出口ライン	18.0	18.0	VT-2 ● ※1								-				
			C充てんポンプ出口ライン	17.36	17.36	VT-2								-	○			
			ほう酸混合器及び出入ロライン	0.11	0.11	VT-2								-				
			ほう酸ポンプ及び充てんポンプ連絡ライン	0.11	0.11	VT-2								-		○		
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	安全注入系統	Aほう酸ポンプ入ロライン	水張り	水張り	VT-2 ● ※1							-			-	一部気圧検査	
			Bほう酸ポンプ入ロライン	水張り	水張り	VT-2 ● ※1							-			-	一部気圧検査	
			Aほう酸ポンプ出口ライン	0.87	0.87	VT-2 ● ※1							-					
			Bほう酸ポンプ出口ライン	0.87	0.87	VT-2 ● ※1							-					
			封水戻りライン	0.20	0.20	VT-2								-	○			
			A、B高圧注入ポンプ入ロライン	0.19	0.19	VT-2								-	○			
			A高圧注入ポンプ出口ライン(1)	10.01	10.01	VT-2								-	○			
			A高圧注入ポンプ出口ライン(2)	10.01	10.01	VT-2								-	○			RCS漏えい検査時実施

※1:プラント長期停止に伴い、プラント起動時(H29)に検査を実施

クラス2機器供用期間中検査10年計画

7. クラス2機器漏えい検査(2/4)

別紙-2(8/10)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	系統名	運転圧力又は 最高使用 圧力(MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備 考	
							2013年	2014年	2015年 第15回	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回		
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	安全注入系統	B高圧注入ポンプ出口ライン(1) B高圧注入ポンプ出口ライン(2) 格納容器再循環サンプル出口ライン 蓄圧タンク及びび出入口ライン 燃料取替用水ピット出入口ライン 蓄圧タンク窒素充てんライン 蓄圧タンク注入ライン	10. 01	10. 01	VT-2	●											
				10. 01	10. 01	VT-2	● ※1											RCS漏えい検査時実施
				水張り	水張り	VT-2								○				ガードパイプ内包部分は 検査不可
				4. 42	4. 42	VT-2								○				一部気圧検査
				水張り	水張り	VT-2								○				
				10. 01	10. 01	VT-2								○				
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	余熱除去系統	A余熱除去ポンプ入口ライン B余熱除去ポンプ入口ライン A余熱除去ポンプ出口ライン B余熱除去ポンプ出口ライン	2. 75	2. 75	VT-2												
				2. 75	2. 75	VT-2								○				
				3. 78	3. 78	VT-2								○				
				3. 78	3. 78	VT-2								○				
				0. 19	0. 19	VT-2					●							
				0. 19	0. 19	VT-2					●							
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	格納容器スプレイ系 統	A格納容器スプレイポンプ入口ライン B格納容器スプレイポンプ入口ライン A格納容器スプレイポンプ出口ライン(1) A格納容器スプレイポンプ出口ライン(2) B格納容器スプレイポンプ出口ライン(1) B格納容器スプレイポンプ出口ライン(2) よう素除去薬品タンク及びび出入口ライン Aよう素除去薬品タンク出口ライン Bよう素除去薬品タンク出口ライン	1. 97	1. 97	VT-2												
				1. 97	1. 97	VT-2								○				気圧検査
				1. 97	1. 97	VT-2												
				1. 97	1. 97	VT-2												気圧検査
				0. 03	0. 03	VT-2					●							一部気圧検査
				水張り	水張り	VT-2												

クラス2機器供用期間中検査10年計画

7. クラス2機器漏えい検査(3/4)

別紙-2(9/10)

維持規格 JSME S NA1-2008				大嶺発電所 第4号機 検査計画(10カ年)												備考				
項目番号	カテゴリ	系統名	検査の対象箇所 ライン名	運転圧力は 最高使用 圧力(MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 2022年													
							第1回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回					
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	格納容器スプレイ系 統	PH調整剤タンク及び出入ライン	0. 03	0. 03	VT-2							○		—			一部気圧検査		
C7. 10 C7. 30 C7. 70	C-H	主蒸気系統	A蒸気発生器蒸気出口ライン	4. 62	4. 62	VT-2							○		—			RCS漏えい検査時実施		
			B蒸気発生器蒸気出口ライン	4. 62	4. 62	VT-2								○		—		RCS漏えい検査時実施		
			C蒸気発生器蒸気出口ライン	4. 62	4. 62	VT-2								○		—		RCS漏えい検査時実施		
			D蒸気発生器蒸気出口ライン	4. 62	4. 62	VT-2									○		—		RCS漏えい検査時実施	
C7. 30 C7. 70	C-H	主給水系統	A蒸気発生器給水入ライン	4. 62	4. 62	VT-2							○		—			RCS漏えい検査時実施		
			B蒸気発生器給水入ライン	4. 62	4. 62	VT-2								○		—		RCS漏えい検査時実施		
			C蒸気発生器給水入ライン	4. 62	4. 62	VT-2									○		—		RCS漏えい検査時実施	
			D蒸気発生器給水入ライン	4. 62	4. 62	VT-2										○		—		RCS漏えい検査時実施
C7. 30 C7. 70	C-H	蒸気発生器ブローダ ウン系統	A蒸気発生器ブローダウンライン	4. 62	4. 62	VT-2							○		—			RCS漏えい検査時実施		
			B蒸気発生器ブローダウンライン	4. 62	4. 62	VT-2									○		—		RCS漏えい検査時実施	
			C蒸気発生器ブローダウンライン	4. 62	4. 62	VT-2										○		—		RCS漏えい検査時実施
			D蒸気発生器ブローダウンライン	4. 62	4. 62	VT-2										○		—		RCS漏えい検査時実施
C7. 30 C7. 70	C-H	制御用空気系統	A蒸気発生器ブローダウンサンブルライン	4. 62	4. 62	VT-2							○		—			RCS漏えい検査時実施		
			B蒸気発生器ブローダウンサンブルライン	4. 62	4. 62	VT-2									○		—		RCS漏えい検査時実施	
			C蒸気発生器ブローダウンサンブルライン	4. 62	4. 62	VT-2										○		—		RCS漏えい検査時実施
			D蒸気発生器ブローダウンサンブルライン	4. 62	4. 62	VT-2											○		—	
C7. 30 C7. 70	C-H	制御用空気系統	A制御用空気ライン	0. 74	0. 74	VT-2								○		—				
B制御用空気ライン	0. 74		0. 74	VT-2											○		—			
C7. 30 C7. 70	C-H	所内用空気系統	所内用空気ライン	0. 7	0. 7	VT-2									○		—			

クラス2機器供用期間中検査10年計画

7. クラス2機器漏えい検査(4/4)

別紙-2(10/10)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSMC S NA1-2008 検査の対象箇所	系統名	ライン名	運転圧力は 最高使用 圧力(MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考
								2013年	2014年	2015年 第15回	2016年	2017年	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	
C7. 30 C7. 70	C-H	試料採取系統		加圧器液相部、気相部サンプルライン	15. 41	15. 41	VT-2						-		○	-		
				Dループ高温側サンプルライン	15. 41	15. 41	VT-2						-		○	-		
				蓄圧タンクサンプルライン	4. 42	4. 42	VT-2						-		○	-		
C7. 30 C7. 70	C-H	燃料取替用水系統		原子炉キャビティ浄化ライン(1)	水張り	水張り	VT-2						-		○	-		
				原子炉キャビティ浄化ライン(2)	水張り	水張り	VT-2						-		○	-		
C7. 30 C7. 70	C-H	廃棄物処理系統		格納容器冷却材ドレンポンプ出口ライン	0. 6	0. 6	VT-2						-		○	-		
				格納容器サンプポンプ出口ライン	0. 2	0. 2	VT-2						-		○	-		
C7. 30 C7. 70	C-H	1次系洗浄水系統		1次系洗浄水ライン	0. 7	0. 7	VT-2						-			-	○	
C7. 30 C7. 70	C-H	原子炉補機冷却水系統		CRDM冷却ユニット他冷却水入ロライン	0. 7	0. 7	VT-2						-			-	○	
				CRDM冷却ユニット他冷却水出ロライン	0. 2	0. 2	VT-2						-			-	○	
				RCP冷却水入ロライン	0. 7	0. 7	VT-2						-			-	○	
				RCP冷却水出ロライン	0. 2	0. 2	VT-2						-			-	○	
C7. 30 C7. 70	C-H	消火水系統		消火水ライン	0. 6	0. 6	VT-2						-			-	○	

クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙ー3(1/7)

維持規格 JSME S NA1ー2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)												備 考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第15回					2019年			2020年	2021年	2022年
								2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	第16回		第17回	第18回	
D1. 10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3	代表1基の 7. 5%	2箇所 /1基 × 2基	VT-3	代表1基の 100% (2箇所)							B		-		
F1. 44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の 7. 5%	2箇所 /1基 × 2基	VT-3	代表1基の 100% (2箇所)							B		-		

別紙-3(1/7)

2. 格納容器スプレイ冷却器(胴側)

維持規格 JSME S NA1－2008				大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)													備 考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第15回					2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回		2022年 第18回
								2013年	2014年	2015年	2016年	2017年						
D1. 10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3	代表1基の 7. 5%	2箇所 /1基 × 2基	VT-3	代表1基の 100% (2箇所)						－	B		－		
F1. 44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の 7. 5%	2箇所 /1基 × 2基	VT-3	代表1基の 100% (2箇所)						－	B		－		

クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙-3(2/7)

3. 配管

維持規格 JSME S NA1-2008					大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)													備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第15回					2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回		2022年 第18回
									2013年	2014年	2015年	2016年	2017年						
D1. 20	D-A	配管の支持部材 取付け溶接継手	原子炉補機冷却 水系統	VT-3	全数の 7.5%	63箇所	VT-3	7.9% (5箇所)	1					2	1	—	1		
F1. 31	F-A	支持構造物	原子炉補機冷却 水系統	VT-3	全数の 7.5%	461箇所	VT-3	7.5% (35箇所)	6		5			—	14	5	—	5	

4. 弁

維持規格 JSME S NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)														備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年～2022年										
								2013年	2014年	2015年 第15回	2016年	2017年	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回		2022年 第18回
F1. 31	F-A	支持構造物	VT-3	全数の 7.5%	2箇所/ 1台 × 4台	VT-3	代表1台の 100%(2箇 所/1台)						—		—	2		

クラス3機器供用期間中検査10年計画

5. クラス3機器漏えい検査

維持規格 JSME S NA1-2008				大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備 考				
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査圧力 (MPa)	運転圧力 又は 最高使用 圧力 (MPa)	第15回					2019年 第16回	2020年 第17回		2021年 第18回	2022年 第18回		
		系統名	ライン名				2013年	2014年	2015年	2016年	2017年						2018年	
D2. 10 D2. 30	D-B	原子炉補機冷却水系 統		A、B原子炉補機冷却水ポンプ 入口ライン	VT-2	0. 34	0. 34					—			—		一部気圧検査	
				C、D原子炉補機冷却水ポンプ 入口ライン	VT-2	0. 34	0. 34					—			—			
				原子炉補機冷却水サージタンク 及び出入口ライン	VT-2	0. 02	0. 02					—				—		
				A、B原子炉補機冷却水ポンプ 出口ライン	VT-2	0. 96	0. 96					—				—		
D2. 10 D2. 30	D-B	燃料ピット冷却浄化系 統		C、D原子炉補機冷却水ポンプ 出口ライン	VT-2	0. 96	0. 96					—		○		—		
				使用済燃料ピットポンプ入口ライ ン	VT-2	0. 18	0. 18					—					—	
				A使用済燃料ピットポンプ出口ラ イン	VT-2	0. 76	0. 76					—					—	
				B使用済燃料ピットポンプ出口ラ イン	VT-2	0. 76	0. 76					—					—	
D2. 30	D-B	制御用空気系統		A制御用空気出口ライン	VT-2	0. 64	0. 64					—		○		—	気圧検査	
				B制御用空気出口ライン	VT-2	0. 64	0. 64					—					—	○

クラス3機器供用期間中検査10年計画

6. 原子炉補機冷却水冷却器

別紙-3(4/7)

項目 番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	検査 方法	検査範囲	設備数	検査 方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10ヵ年)										備 考
								2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3	代表1基 の7.5%	3箇所/1基 ×2基	VT-3	代表1基 の100% (3箇所)						—	B		—		
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基 の7.5%	3箇所/1基 ×2基	VT-3	代表1基 の100% (3箇所)						—	B		—		

7. 海水ストレーナ

項目 番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	検査 方法	検査範囲	設備数	検査 方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10ヵ年)										備 考
								2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	
D1.10	D-A	鏡板とスカートとの溶接継手	VT-3	代表1基 の7.5%	1箇所/1基 ×4基	VT-3	代表1基 の100% (1箇所)						—	B		—		
F1.44	F-A	支持構造物(スカート)	VT-3	代表1基 の7.5%	1箇所/1基 ×4基	VT-3	代表1基 の100% (1箇所)						—	B		—		

8. 非常用ディーゼル発電機清水冷却器

項目 番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	検査 方法	検査範囲	設備数	検査 方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10ヵ年)										備 考
								2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	
D1.10	D-A	胴と当板脚との溶接継手	VT-3	代表1基 の7.5%	2箇所/1基 ×2基	VT-3	代表1基 の100% (2箇所)						—			—	B	
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基 の7.5%	2箇所/1基 ×2基	VT-3	代表1基 の100% (2箇所)						—			—	B	

クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙-3(5/7)

9. 非常用ディーゼル発電機潤滑油冷却器

維持規格 JSME S NA1-2008					大阪発電所 第4号機 検査計画(10ヵ年)												備考	
項目 番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査 方法	検査範囲	設備数	検査 方法	検査範囲	第15回					2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	
								2013年	2014年	2015年	2016年	2017年						
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3	代表1基 の7.5%	2箇所/1基 ×2基	VT-3	代表1基 の100% (2箇所)						—			—	B	
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基 の7.5%	2箇所/1基 ×2基	VT-3	代表1基 の100% (2箇所)						—			—	B	

10. 配管

維持規格 JSME S NA1-2008				大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)											備考			
項目 番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査 方法	検査範囲	設備数	検査 方法	検査範囲	2013年	2014年	第15回			2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回
D1.20	D-A	配管の支持 部材取付け 溶接継手	原子炉補機 冷却海水系統	VT-3	全数 の7.5%	83箇所	VT-3	8.4% (7箇所)				2	—	3	1	—	1	
F1.31	F-A			VT-3	全数 の7.5%	466 箇所 RH: 168 AN: 298	VT-3	7.7% (36箇所)					3	—	6	3	—	1
												4	—	10	5	—	4	

クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙-3(6/7)

11. 弁

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10ヵ年)														備 考			
項目 番号	カテ ゴリ	検査の対象箇所		検査 方法	検査 範囲	設備数		検査 方法	検査 範囲	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 第1回		2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回
F1.31	F-A	支持構造物	原子炉補機 冷却海水系統	VT-3	全数 の7.5%	3 箇所	RH: 3	VT-3	33% (1箇所)						—	1 (V- PMPW- 506)		—	

12. 原子炉補機冷却水ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10ヵ年)																備 考			
項目 番号	カテ ゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査 方法	検査範囲	第15回										2019年 第16回		2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回
								2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 第1回									
F1.31	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	4箇所/1台 × 4台	VT-3	代表1台 の100% (4箇所)								—		—		A			

クラス3機器供用期間中検査10年計画

13. クラス3機器漏えい検査

別紙-3(7/7)

維持規格 JSME S NA1-2008				大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)											備考		
項目 番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査 方法	検査圧力 (MPa)	運転圧力又は 最高使用 圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	第15回									
		系統名	ライン名					2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年		2020年	2021年
D2.10 D2.30	D-B	原子炉補機 冷却海水系 統	原子炉補機 冷却海水ポン プ出口ライン	A-B原子炉補機冷却海水ポン プ出口ライン	0.44	0.44	VT-2										○
D2.10 D2.30	D-B	非常用ディー ゼル発電機 系統	非常用ディー ゼル発電機 系統	A-非常用ディーゼル発電機 冷却水ライン B-非常用ディーゼル発電機 冷却水ライン	0.44	0.44	VT-2					○				○	
D2.10 D2.30	D-B	非常用ディー ゼル発電機 系統	非常用ディー ゼル発電機 系統	A-非常用ディーゼル発電機 起動空気ライン B-非常用ディーゼル発電機 起動空気ライン	2.501	2.501	VT-2					○				○	
D2.10 D2.30	D-B	非常用ディー ゼル発電機 系統	非常用ディー ゼル発電機 系統	A-非常用ディーゼル発電機 起動空気ライン B-非常用ディーゼル発電機 起動空気ライン	2.501	2.501	VT-2										

クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査10年計画

別紙ー4(1/1)

NRA 文書 (原規技発第 1408063号)					大飯発電所 第 4号機 検査計画 (10カ年)										備考
機器名	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査頻度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
					第1回	第16回	第17回	第1回	第18回	第19回	第1回	第20回	第21回	第22回	
原子炉容器	原子炉容器底部の表面	—	—	100%/5年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計装用貫通部溶接継手	BMV	58箇所		—	○		—		○	—				(重大事故等クラス2機器)

クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画

別紙-5(1/1)

NRA文書 原規技発第1408063号※1					大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)																		
項目 番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	備考
								第一回	第13回	第14回	第15回			第16回	第17回	第一回	第18回	第19回					
-	-	配管	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		抽出水ライン(3B)	体積	25%	19箇所	UT	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-
		充てんライン(3B)	体積	25%	35箇所	UT	9	-	4	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	1
		再生熱交換器連絡管	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
		抽出水ライン連絡管(3B)	体積	25%	12箇所	UT	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
		充てんライン連絡管(3B)	体積	25%	12箇所	UT	3	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	(重大事故等クラス2機器)

※1:2014年8月以降は「NRA文書 原規技発第1408063号」を適用

原子炉格納容器供用期間中検査10年計画

別紙一6(1/1)

1. 原子炉格納容器

維持規格 JSME S NA1-2008				大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)																	備 考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年
E8. 10	E-G	圧力保持 機器搬入口 (PEN #540) 締付け部	VT-4	25%	1箇所	VT-4	25%							第15回	第一回	第16回	第17回	第一回	第18回	第19回	第一回	第20回	第21回	第22回

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

1. 格納容器スプレイ冷却器（管側）

別紙ー7(1／32)

維持規格 JSME S NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)															備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回	
C1. 10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/ 1基×2基	UT	代表1基の 7.5% (1箇所)		－			－			－			A 7.5%
C1. 20	C-A	管側鏡板と管側胴との溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/ 1基×2基	UT	代表1基の 7.5% (1箇所)		－			－		A 7.5%	－			
C4. 10	C-D	全ねじボルト	体積	代表1基 全数の 7.5%	48本/1基 ×2基	UT	代表1基の 100% (48本/1基)		－	A 16本		－		A 16本	－			A 16本

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考	
								2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回		
C3. 20	C-C	原子炉補機冷却水ポンプ 入口ライン	表面	全数の 7.5%	3箇所	PT	33% (1箇所)		-			-	1		-				
		配管支持部 材取付け溶 接継手	表面	全数の 7.5%	1箇所	PT	100% (1箇所)		-	1		-			-				
		主蒸気大気放出ライン	表面	全数の 7.5%	4箇所	PT	25% (1箇所)		-			-			-	1			
C5. 11	C-F	原子炉補機冷却水冷却器 入口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	11箇所	PT	9% (1箇所)		-			-		1	-				
		原子炉補機冷却水戻り母管	体積又は 表面	全数の 7.5%	36箇所	PT	8% (3箇所)		-	1		-		1	-	1			
		主蒸気大気放出ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	8箇所	UT及び PT	12% (1箇所)		-			-		1	-				
C5. 12	C-F	原子炉補機冷却水冷却器 入口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	11箇所	PT	9% (1箇所)		-		1	-			-				
		原子炉補機冷却水戻り母管	体積又は 表面	全数の 7.5%	46箇所	PT	8% (4箇所)		-	1		-	1		-	1	1		
		原子炉補機冷却水ポンプ 入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	33箇所	VT-3	9% (3箇所)		-	1		-	1		-		1		
F1. 21	F-A	原子炉補機冷却水ポンプ 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	11箇所	VT-3	9% (1箇所)		-		1	-			-				
		格納容器再循環ユニット 入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	54箇所	VT-3	9% (5箇所)		-	2		-	1	1	-		1		
		格納容器再循環ユニット 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	97箇所	VT-3	8% (8箇所)		-	3		-	2	1	-	1	1		
		格納容器スプレイポンプ 入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	12箇所	VT-3	8% (1箇所)		-		1	-			-				
		格納容器スプレイポンプ 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	6箇所	VT-3	16% (1箇所)		-			-			-	1			
		支持構造物																	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

維持規格 JSME S NA1-2008			大船発電所 第4号機 検査計画(10カ年)													備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回	備考	
F1. 21	F-A	支持構造物	格納容器スプレイ冷却器 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	13箇所	VT-3	7.6% (1箇所)	-	-	-	1	-	-	-	-	-		
			RHR-CSS連絡ライン	VT-3	全数の 7.5%	8箇所	VT-3	12% (1箇所)	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
			恒設代替低圧注水ポンプ 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	42箇所	VT-3	9% (4箇所)	-	-	1	1	-	1	-	-	-	1	
			可搬式代替低圧海水注入 ライン	VT-3	全数の 7.5%	1箇所	VT-3	100% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
		主蒸気大気放出ライン	VT-3	全数の 7.5%	4箇所	VT-3	25% (1箇所)	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

別紙ー7(4/32)

3. 格納容器スプレイポンプ

維持規格 JSME S NA1ー2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)															備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回	
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7. 5%	2箇所/ 1台×2台	PT	代表1台の 50% (1箇所/1台)		－			－		A 50%	－			
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7. 5%	2箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)		－			－			－	A 100%		

4. 恒設代替低圧注水ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)															備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回	
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7. 5%	2箇所/ 1台×1台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)		-			-			-		100%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

別紙ー7(5/32)

5. 弁

維持規格 JSME S NA1ー2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)														備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回		2026年 第21回
F1. 43	F-A	格納容器再循環ユニット ト出口ライン 格納容器スプレイ冷却器 出口ライン RHRーCSS連絡ライン 主蒸気大気放出ライン	VT-3	代表1台 の7. 5%	2箇所/ 1台×1台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所／1台)		－			－			－	4TCV- 2392A 2	4TCV- 2392A	4TCV- 2393D
					1箇所/ 1台×1台													
					1箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (1箇所／1台)		－			－		4V-CP- 024A 1	－			4V-CP- 024A・B
					1箇所/ 1台×1台	VT-3	代表1台の 100% (1箇所／1台)		－			－			－		4V-RH -061 1	4V-RH-061
			VT-3	代表1台 の7. 5%	2箇所/ 1台×4台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所／1台)		－		4PCV- 3610 2	－			－			4PCV- 3610.3620. 3630.3640

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

別紙ー7(6/32)

6. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(1/4)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		検査の対象箇所	ライン名	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)											備考		
		系統名							2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回				
C7. 30 C7. 70	C-H	制御用空気系統			A制御用空気ライン	0. 98	0. 74	VT-2		-				-			○		気圧検査			
					B制御用空気ライン	0. 98	0. 74	VT-2		-				-				○	気圧検査			
C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	低圧注水系統			恒設代替低圧注水ポンプ入ロライン	0	水張り	VT-2		-		○		-								
					恒設代替低圧注水ポンプ出ロライン	2. 1	2. 1	VT-2		-			○									
					低圧注水ラインとのAMライン	4. 5	4. 5	VT-2		-			○									
					可搬式代替低圧注水ポンプ出ロライン	1. 55	1. 55	VT-2		-		○		-								
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	原子炉補機冷却水系統			A、B原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン	1. 4	0. 34	VT-2		-				-		○						
					C、D原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン	1. 4	0. 34	VT-2		-				-		○						
					原子炉補機冷却水サージタンク及び 出入ロライン	0. 34	0. 02	VT-2		-			-			○						
					原子炉補機冷却水サージタンク窒素供給ライン	0. 34	0. 34	VT-2		-			-			○						
					A、D格納容器再循環ユニット冷却ライン	1. 4	1. 4	VT-2		-			-			○						
					A、D格納容器再循環ユニット冷却水放出ライン	1. 4	1. 4	VT-2		-			-			○						
					格納容器水素ガス試料冷却ライン	1. 4	1. 4	VT-2		-			-				-	○				
					A、B原子炉補機冷却水ポンプ出ロライン	1. 4	0. 96	VT-2		-			-				○					
					C、D原子炉補機冷却水ポンプ出ロライン	1. 4	0. 96	VT-2		-			-				○					

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

別紙-7(7/32)

6. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(2/4)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第4号機 検査計画(10年)										備考
		系統名	検査の対象箇所 ライン名				2017年 第15回	2018年 第-回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第-回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第-回	2025年 第20回	2026年 第21回	
C7. 30 C7. 70	C-H	換気空調系統	Aアニュラス空気浄化ファン出口ライン	0. 0048	0. 0048	VT-2		-			-			-	○		気圧検査
			Bアニュラス空気浄化ファン出口ライン	0. 0048	0. 0048	VT-2		-			-			-	○		気圧検査
			中央制御室空調設備入口ライン	-0. 00392	-	※1		-			-	○		-			
			中央制御室空調設備出口ライン	0. 00392	-	※1		-			-	○		-			
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	化学体積制御系統	体積制御タンク出口ライン	0. 98	0. 11	VT-2		-		○	-			-			
			A充てんポンプ出口ライン	20. 0	18. 0	VT-2		-			-	○		-			
			B充てんポンプ出口ライン	20. 0	18. 0	VT-2		-		○	-			-			
			C充てんポンプ出口ライン	20. 0	17. 36	VT-2		-		○	-			-			
			充てんポンプ自己冷却ライン (充てんポンプ出口側)	20. 0	18. 0	VT-2		-			-		○	-			
			充てんポンプ自己冷却ライン (充てんポンプ入口側)	0. 98	0. 98	VT-2		-			-			-		○	
			ほう酸ポンプ及び充てんポンプ連絡ライン	0. 98	0. 11	VT-2		-			-	○		-			
			Aほう酸ポンプ入口ライン	0. 05	水張り	VT-2		-			-		○	-			一部気圧検査
			Bほう酸ポンプ入口ライン	0. 05	水張り	VT-2		-			-		○	-			一部気圧検査
			Aほう酸ポンプ出口ライン	1. 4	0. 87	VT-2		-			-		○	-			
			Bほう酸ポンプ出口ライン	1. 4	0. 87	VT-2		-			-		○	-			

※1:技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

別紙-7(8/32)

6. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(3/4)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備 考
		系統名				2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回	
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	安全注入系統	0.39	0.19	VT-2		-			-	○		-			
							-			-			-	○		
							-			-			-	○		RCS漏えい検査時実施
							-			-		○	-			
							-			-		○	-			RCS漏えい検査時実施
							-			-		○	-			ガードハイク内包部分は 検査不可
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	余熱除去系統	4.9	4.42	VT-2		-			-		○	-			一部気圧検査
							-			-			-			
							-			-			-			
							-			-			-			
							-			-			-			
							-			-			-			
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	余熱除去ポンプ入ロライン	4.5	2.75	VT-2		-		○	-			-			
							-		○	-			-			
							-		○	-			-			
							-		○	-			-			
							-		○	-			-			
							-		○	-			-			
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	余熱除去ポンプ出ロライン	4.5	3.78	VT-2		-		○	-			-			
							-		○	-			-			
							-		○	-			-			
							-		○	-			-			
							-		○	-			-			
							-		○	-			-			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

6. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(4/4)

別紙一7(9/32)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所 系統名	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大阪発電所 第4号機 検査計画(10万年)										備 考
						2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回	
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	格納容器スプレ イ系統	0. 39	0. 19	VT-2		-			-		○	-			
							-			-			-	○		
							-			-		○	-			
							-			-		○	-			気圧検査
							-			-			-	○		
							-			-			-	○		気圧検査
C7. 10 C7. 30 C7. 70	C-H	主蒸気系統	8. 8	7. 4	VT-2		-			-	○		-			プラント起動時実施
							-			-	○		-			プラント起動時実施
							-			-	○		-			プラント起動時実施
							-			-	○		-			プラント起動時実施
							-			-	○		-			プラント起動時実施
							-			-	○		-			プラント起動時実施
C7. 30 C7. 70	C-H	主給水系統	8. 8	7. 4	VT-2		-			-	○		-			プラント起動時実施
							-			-	○		-			プラント起動時実施
							-			-	○		-			プラント起動時実施
							-			-	○		-			プラント起動時実施
							-			-	○		-			プラント起動時実施
							-			-	○		-			プラント起動時実施
C7. 10 C7. 30 C7. 70	C-H	試験採取系統	0. 98	0. 98	VT-2		-			-			-		○	気圧検査
							-			-			-		○	気圧検査

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(10/32)

1. 原子炉容器(1/2)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
		上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	
B2. 111	B-B	下部胴とトランジヨニングとの周溶接継手	体積	
		トランジヨニングと下部鏡板との周溶接継手	体積	
B3. 105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	
B3. 10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	
B3. 20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	
B5. 10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	
		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	
B6. 10	B-G-1	ナット	VT-1	
B6. 30	B-G-1	スタッドボルト	体積	
B6. 40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	
B6. 50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	
B7. 10	B-G-2	T/Cハウジングのマーマクランプ用ボルト・ナット	VT-1	
G1. 10	G-P-1	原子炉容器内部	VT-3	
G1. 40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙ー7(11/32)

1. 原子炉容器(2/2)

維持規格 JSME S NA1-2008				大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
G1. 40 G1. 50	G-P-1 G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		下部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%		
B14. 10	B-O	制御棒駆動ハウジングの溶接継手(上部)	体積又は 表面	最外周 25%		
		制御棒駆動ハウジングの溶接継手(下部)				
B15. 10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%		
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	全数の 25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙ー7(12/32)

2. 加圧器(1/2)

維持規格 JSME S NA1-2008				大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B2. 11	B-B	上部鏡板と上部胴との周継手	体積	全長の5%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		下部胴と下部鏡板との周継手	体積	全長の5%		
B2. 12	B-B	上部胴の長手継手	体積	全長の10%		
		中間胴の長手継手	体積	全長の10%		
		下部胴の長手継手	体積	全長の10%		
B2. 13	B-B	上部胴と中間胴との周継手	体積	全長の5%		
		中間胴と下部胴との周継手	体積	全長の5%		
B3. 30	B-D	安全弁用管台と容器との溶接継手	体積	全数の25%		
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手				
		スプレイ用管台と容器との溶接継手				
		サージ用管台と容器との溶接継手				
B3. 40	B-D	安全弁用管台内面の丸みの部分	体積	全数の25%		
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分				
		スプレイ用管台内面の丸みの部分				
		サージ用管台内面の丸みの部分				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

2. 加圧器(2/2)

別紙-7(13/32)

維持規格 JSME S NA1-2008		大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
B5. 40	B-F	安全弁用管台とセーフエンドとの溶接継手	体構及び 表面	クラス1機器供用期間中検査で管理
		逃がし弁用管台とセーフエンドとの溶接継手		
		スプレイ用管台とセーフエンドとの溶接継手		
		サージ用管台とセーフエンドとの溶接継手		
B7. 20	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	クラス1機器供用期間中検査で管理
B8. 20	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカーツ溶接継手)	表面又は 体構	
B15. 20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	
F1. 41	F-A	支持構造物(スカーツ、基礎ボルト含む)	VT-3	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

3. 蒸気発生器(1/1)

別紙-7(14/32)

維持規格 JSME S NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲
B2. 40	B-B	管板と水室鏡板との溶接継手	体積	代表1基 全長の 25%
B3. 60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分	体積	代表1基 全長の 25%
		冷却材出口管台の内面の丸みの部分		
B5. 70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全長の 25%
		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手		
B7. 30	B-G-2	1次側マンホールボルト(入口側)	VT-1	代表1基 全長の 25%
		1次側マンホールボルト(出口側)		
B8. 30	B-H	水室鏡とサポートヘッドとの溶接継手	表面	代表1基 全長の 7.5%
B15. 30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基 の25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

4. 配管(1/3)

別紙-7(15/32)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
B9. 11	B-J	配管の同種金 属溶接継手 (呼び径 100A 以上:周継手)	1次冷却材管	全数の 体積
			加圧器サージライン	全数の 体積
			加圧器安全弁ライン	全数の 体積
			加圧器逃がし弁ライン	全数の 体積
			余熱除去ポンプ入口ロライン	全数の 体積
			SIS蓄圧注入ライン	全数の 体積
			SIS低温側低圧注入ライン	全数の 体積
B9. 21	B-J	配管の同種金 属溶接継手 (呼び径 100A 未満:周継手)	加圧器逃がし弁ライン	全数の 表面
			余熱除去ポンプ入口ロライン	全数の 表面
			CVC5充てんライン	全数の 表面
			SIS低温側高圧補助注入 ライン	全数の 表面
クラス1機器供用期間中検査で管理				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(16/32)

4. 配管(2/3)

維持規格 JSME S NA1-2008		大坂発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
B9. 31	B-J	母管と管台との溶接継手(呼び径100A以上)	体積	
B9. 32	B-J	1次冷却材管	表面	
		1次冷却材管	表面	
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	
		SIS蓄圧注入ライン	表面	
B9. 40	B-J	母管と管台との溶接継手(呼び径100A未満)	表面	
		SIS低温側低圧注入ライン	表面	
		SIS低温側高圧補助注入ライン	表面	
B10. 20	B-K	耐圧部分への取付け溶接継手	表面	
B15. 50	B-P	圧力保持範囲	VT-2	

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(17/32)

4. 配管(3/3)

維持規格 JSME S NA1-2008		大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法 検査範囲	
F1.10	F-A	加圧器サージライン	VT-3 全数の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
		加圧器遮がし弁ライン	VT-3 全数の 25%	
		CVC5充てんライン	VT-3 全数の 25%	
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3 全数の 25%	
		SIS蓄圧注入ライン	VT-3 全数の 25%	
		SIS低温側低圧注入ライン	VT-3 全数の 25%	
		SIS低温側高圧補助注入ライン	VT-3 全数の 25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

5. 1次冷却ポンプ(1/1)

別紙-7(18/32)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
B6. 180		主フランジボルト	体積	クラス1機器供用期間中検査で管理
			代表1台の 25%	
B6. 190 B-G-1		主フランジ表面	VT-1	
			代表1台の 25%	
B6. 200		主フランジナット・ワッシャ	VT-1	
			代表1台の 25%	
B12. 20 B-L-2		ケーシングの内表面	VT-3	
			代表1台の 100%	
B15. 60 B-P		圧力保持範囲	VT-2	
			漏えい 検査時 100%	
F1. 41 F-A		支持構造物	VT-3	
			代表1台の 25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙ー7(19/32)

6. 弁(1/2)

維持規格 JSME S NA1-2008			大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
B7. 70	B-G-2	加圧器安全弁ライン	VT-1	代表1台 の25%	4V-RC-055 4V-RC-056 4V-RC-057
		加圧器逃がし弁ライン	VT-1	代表1台 の25%	4V-RC-054A・B
			VT-1	代表1台 の25%	4PCV-452A・B
			VT-1	代表1台 の25%	4V-CS-164 4V-CS-166
		CVCS充てんライン	VT-1	代表1台 の25%	4PCV-420. 4PCV-430 4V-RH-002A・B
		直径50mm 以下の圧力 保持用バル ブ接続部	余熱除去ポンプ入ロライン	VT-1	クラス1機器供用期間中検査で管理
			SIS蓄圧注入ライン	VT-1	
			SIS低温制低圧注入ライン	VT-1	
			加圧器安全弁ライン	VT-3	
			余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	
B12. 50	B-M-2	呼び径 100Aを超 える弁箱	SIS蓄圧注入ライン	VT-3	4PCV-420. 4PCV-430 4V-RH-002A・B
			SIS低温制低圧注入ライン	VT-3	4V-SI-134A・B・C・D 4V-SI-136A・B・C・D
					4V-RH-050A・B・C・D
B15. 70	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙ー7(20/32)

6. 弁(2/2)

維持規格 JSME S NA1-2008		大阪支電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
F1. 41	F-A	加圧器安全弁ライン 支持構造物 加圧器逃がし弁ライン 余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	4V-RC-055 4V-RC-056 4V-RC-057
			VT-3	4V-RC-054A・B
			VT-3	3PGV-452A・B
			VT-3	4PGV-420、4PGV-430 4V-RH-002A・B
				クラス1 機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器Ni基金使用部位特別検査範囲)

NRA文書(原規技発第1408063号)					大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備考
機器名	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査頻度	クラス1機器Ni基金使用部位特別検査で管理		
原子炉容器	原子炉容器底部の表面	—	—	100%/5年			
	計装用貫通部溶接継手	BMV	58箇所				

別紙ー7(21/32)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査)

NRA文書(原規技発第1408063号)					大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査で管理		
-	-	配管	—	—			
		充てんライン(3B)	体積	25%			
		再生熱交換器連絡管	—	—			
		充てんライン連絡管(3B)	体積	25%			

別紙ー7(22/32)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス2機器供用期間中検査範囲)

1. 余熱除去冷却器

別紙ー7(23/32)

維持規格 JSME S NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
C1. 10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	
C1. 20	C-A	管側鏡板と管側胴との溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	
C2. 21	C-B	管側入口管台と管側胴との溶接継手 管側出口管台と管側胴との溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全数の 7.5%	
C4. 10	C-D	全ねじボルト	体積	代表1基 全数の 7.5%	
クラス2機器供用期間中検査で管理					

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス2機器供用期間中検査範囲)

別紙ー7(24/32)

2. 配管(1/3)

維持規格 JSME S-NA1-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
C3. 20	C-C	高圧注入ポンプ出口ライン	表面	全数の7.5%	
		高圧注入ポンプ出口連絡ライン	表面	全数の7.5%	
		配管支持部材取付け溶接継手	表面	全数の7.5%	
			表面	全数の7.5%	
			表面	全数の7.5%	
			表面	全数の7.5%	
C5. 11	C-F	SIS低温側低圧注入ライン	表面	全数の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
		格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	全数の7.5%	
		充てんポンプ出口ライン	体積及び表面	全数の7.5%	
		余熱除去ポンプ入口ライン	体積又は表面	全数の7.5%	
		余熱除去ポンプ出口ライン	体積又は表面	全数の7.5%	
		余熱除去ポンプ出口ライン	体積及び表面	全数の7.5%	
		余熱除去冷却器出口ライン	体積及び表面	全数の7.5%	
		SIS低温側低圧注入ライン	体積及び表面	全数の7.5%	
		高圧注入ポンプ出口ライン	体積及び表面	全数の7.5%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス2機器供用期間中検査範囲)

別紙ー7(25/32)

2. 配管 (2/3)

維持規格 JSME S NA1ー2008				大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備 考
C5. 11	CーF	格納容器再循環サンプ出口ライン	体積又は表面	全数の7.5%	
		呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手	体積又は表面	全数の7.5%	
C5. 12	CーF	燃料取替用水ピット出口ライン	体積又は表面	全数の7.5%	
		余熱除去ポンプ入口ライン	体積又は表面	全数の7.5%	
C5. 21	CーF	燃料取替用水ピット出口ライン	体積又は表面	全数の7.5%	
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	全数の7.5%	
C5. 30	CーF	高圧注入ポンプ出口連絡ライン	表面	全数の7.5%	
		SIS低温側高圧補助注入ライン	表面	全数の7.5%	
C5. 41	CーF	SIS低温側高圧補助注入ライン	表面	全数の7.5%	
		ソケット溶接継手	表面	全数の7.5%	
C5. 41	CーF	呼び径50Aを超える母管と管台及び母管と枝管との溶接継手	表面	全数の7.5%	
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	全数の7.5%	

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス2機器供用期間中検査範囲)

別紙ー7(26/32)

2. 配管 (3/3)

維持規格 JSME S NAI-2008			大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
F1.21	F-A	充てんポンプ出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	
		余熱除去ポンプ出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	
		余熱除去冷却器出入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	
		余熱除去冷却器出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	
		SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	全数の 7.5%	
		高圧注入ポンプ出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	
		高圧注入ポンプ出口連絡ライン	VT-3	全数の 7.5%	
		SIS低温側高圧補助注入ライン	VT-3	全数の 7.5%	
		格納容器再循環サンプ出口 ライン	VT-3	全数の 7.5%	
		燃料取替用水ピット出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス2機器供用期間中検査範囲)

別紙ー7(27/32)

3. 充てんポンプ

維持規格 JSME S NA1-2008				大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
C3. 30	C-C	ポンプ支持部材取付け溶接継手	表面	全数の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	
C4. 30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%		
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%		
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%		

4. 充てんポンプ(往復動式)

維持規格 JSME S NA1-2008				検査範囲	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法		
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	全数の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理

5. 余熱除去ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2008				大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス2機器供用期間中検査で管理	
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5%		
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス2機器供用期間中検査範囲)

6. 弁

別紙ー7(28/32)

維持規格 JSME S NA1ー2008		検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	備考
項目番号	カテゴリ					
F1. 43	F-A	余熱除去冷却器出入口ライン		VT-3	代表1台 の7.5%	4HCV-603 4HCV-613
		余熱除去冷却器出口ライン		VT-3	代表1台 の7.5%	4V-RH-043A・B
		支持構造物		VT-3	代表1台 の7.5%	4V-SI-093A・B
		格納容器再循環サブ出口ライン		VT-3	代表1台 の7.5%	
クラス2機器供用期間中検査で管理						

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(原子炉格納容器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉格納容器

別紙ー7(29/32)

維持規格 JSME S NA1-2008				大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)														備 考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年
		圧力保持 用ボルト 締付け部	機器搬入口 (PEN #540)						VT-4	25%	1箇所	VT-4	25%	第15回	第一回	第16回	第17回		第一回
E8. 10	E-G			VT-4	25%	1箇所	VT-4	25%		—				—			—	○	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙—7(30/32)

1.原子炉補機冷却水冷却器

維持規格 JSME S NA1－2008					大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)													備考
項目 番号	カテ ゴリ	検査の対象箇所	検査 方法	検査範囲	設備数	検査 方法	検査範囲	2017年 第15回	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	
C1.10	C－A	胴側胴と胴側フランジ との周継手	体積	代表1基の 溶接継手 長さの7. 5%	2箇所／1基 ×1基 (A)	UT	代表1基の 7. 5% (2箇所)		－			－			－	A 7. 5%		
C1.10	C－A	胴側胴の周継手	体積	代表1基の 溶接継手 長さの7. 5%	2箇所／1基 ×1基 (A)	UT	代表1基の 7. 5% (2箇所)		－			－			－	A 7. 5%		
C2.21	C－B	胴側入口管台と胴側胴 との溶接継手	体積及び 表面	代表1基の 全数の 7. 5%	1箇所／1基 ×1基 (A)	UT及び PT	代表1基の 50% (1箇所)		－			－			－	A 入口側		
		1箇所／1基 ×1基 (A)																
C2.22	C－B	胴側入口管台内面の丸 みの部分	体積	代表1基の 全数の 7. 5%	1箇所／1基 ×1基 (A)	UT	代表1基の 50% (1箇所)		－			－			－	A 入口側		
		1箇所／1基 ×1基 (A)																
C3.10	C－C	胴と当板との溶接継手	表面	代表1基の 溶接継手数の 7. 5%	3箇所／1基 ×1基 (A)	PT	代表1基の 100% (3箇所)		－			－			－	A 100%		
F1.43	F－A	支持脚	VT－3	代表1基の 7. 5%	3箇所／1基 ×1基 (A)	VT－3	代表1基の 100% (3箇所)		－			－			－	A 100%		

2.原子炉補機冷却水ポンプ(1/1)

維持規格 JSME S NA1—2008				大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)														備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年 第15回	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	
F1.43	F—A	ポンプ台板脚	VT—3	代表1基の7.5%	4箇所/1台 ×2台 (A、B)	VT—3	代表1台の100% (4箇所)		—			—	A		—			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙-7(31/32)

3.重大事故等クラス2機器漏えい検査(1/1)

維持規格 JSME S NA1—2008				大飯発電所 第4号機 検査計画(10ヵ年)												備 考			
項目 番号	カテ ゴリ	検査の対象箇所		検査圧力 (MPa)	検査 方法	SA時最高使用 圧力 (MPa) (工認記載値)	2017年 第15回	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回		2026年 第21回		
		系統名	ライン名																
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	D—B	原子炉補機 冷却海水系統	A	海水ポンプライン	1. 2	0. 098	VT—2		—		—		○		—				
			B	海水ポンプライン	1. 2	0. 098	VT—2		—				○		—				
			C	海水ポンプライン	1. 2	0. 098	VT—2		—			—		○		—			
			A	海水ヘッダ出口ライン	1. 2	0. 098	VT—2		—			—		○		—			
C7.30 C7.50 C7.70	C—H	補助給水系統	A、B	電動補助給水ポンプ入 ロライン	0	水張り (静水頭圧)	VT—2		—		—		○		—				
			タービン動補助給水ポンプ入 ロライン	0	水張り (静水頭圧)	VT—2		—			—			○					
			A	電動補助給水ポンプ出口ラ イン	13. 1	9. 4	VT—2		—			—		○		—			
			B	電動補助給水ポンプ出口ラ イン	13. 1	9. 4	VT—2		—			—		○		—			
C7.10	C—H	非常用ディー ゼル発 電機 系統	タービン動補助給水ポンプ出 ロライン	12. 7	9. 4	VT—2		—			—			—		○			
			A—非常用ディーゼル発電機 起動空気ライン	3. 2	2. 501	VT—2		—			—				—		○		
C7.10	C—H		B—非常用ディーゼル発電 機起動空気ライン	3. 2	2. 501	VT—2		—			—			—		○			

重大事故等クラス2供用期間中検査10年計画

・プレストレストコンクリート格納容器

別紙ー7(32/32)

大飯発電所 第4号機 検査計画(10ヵ年)														備 考
検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	頻度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	
				第15回	第一回	第16回	第17回	第一回	第18回	第19回	第一回	第20回	第21回	
コンクリート部	目視検査	PCCV表面選定部位 検査テンドン定着部周辺	PCCV-ISIの 頻度による	● ※	－		○	－			－	○		
ライナフレート部	目視検査	ライナフレート表面選定部位	PCCV-ISIの 頻度による	● ※	－		○	－			－	○		
緊張材定着部	目視検査	検査テンドンの緊張材定着部表面	PCCV-ISIの 頻度による	● ※	－		○	－			－	○		
テンドン	緊張力確認検査	フープテンドン 4本 逆Uテンドン 3本	PCCV-ISIの 頻度による	● ※	－		○	－			－	○		
防錆材	防錆材検査	検査テンドンの端部から採取	PCCV-ISIの 頻度による	● ※	－		○	－			－	○		

※平成28年度実施のプレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査自主検査の記録確認

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙－8(1/5)

重大事故等クラス3機器漏えい検査

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 準拠 検査の対象箇所 設備名	SA時最高使用圧力 (MPa) (工歴記載値)	検査方法 ※	大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備 考
					2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回	
					2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回	
C7. 10 C7. 30 C7. 50	C-H	電源車内燃機関、冷却水ポンプ (電源車)	－	VT-2		－			－		○	－			
		電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)内燃機関、冷却水ポンプ (電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	－	VT-2		－			－			－	○		
		燃料タンク (電源車)	大気圧	VT-2		－			－		○	－			
		燃料タンク (電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	大気圧	VT-2		－			－			－	○		

※：技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要がある(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別紙-8(2/5)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 雑弧		S/A時最高使用圧力 (MPa) (工認記数値)	検査方法 ※	大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考
		検査の対象箇所	設備名			2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回	
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)		0.90以上	VT-2		-			-			-		○	
		可搬式空気圧縮機用空気だめ		1.05	VT-2		-			-			-		○	
		増圧装置空気だめ		1.0	VT-2		-			-			-		○	
		窒素ボンベ(代替制御用空気供給用)		14.7	VT-2		-			-			-		○	
		窒素ボンベ(代替制御用空気供給用)～ホース先端		0.98 17.16	VT-2		-			-			-		○	
		代替制御用空気ライン窒素供給用ホース 20m、16m、10mホース		0.98	VT-2		-			-			-		○	
		窒素ラインマニホールド連結用0.68mホース		17.16	VT-2		-			-			-		○	
		可搬式空気圧縮機ラインマニホールド接続用2mホース		0.98	VT-2		-			-			-		○	
		可搬式空気圧縮機ラインマニホールド接続用1.5mホース		0.98	VT-2		-			-			-		○	
		可搬式空気圧縮機ラインマニホールド接続用5mホース		0.98	VT-2		-			-			-		○	
		代替制御用空気供給ライン安全弁(4V-1A-765A、B)		吹出圧力 0.98	VT-2		-			-			-		○	

※:技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要がある(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 準拠 検査の対象箇所 設備名	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法 ※	大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考		
					2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回			
C7. 30	C-H	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置	0.44	VT-2		—				—				—	○		
		可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置接続用フレキシブルホース	0.98	VT-2		—				—				—	○		
		可搬型格納容器水素ガス濃度計入口側接続用フレキシブルホース	0.98	VT-2						—				—	○		
		可搬型格納容器水素ガス濃度計出口側接続用フレキシブルホース	0.98	VT-2		—				—				—	○		
C7. 10 C7. 30 C7. 50	C-H	可搬式代替低圧注水ポンプ屋内送水用10mホース(2本)	1.55	VT-2		—				—				—	○		
		格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ	0.33	VT-2		—				—						○	
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	窒素ポンプ(原子炉補機冷却水サージタンク加圧用)	14.7	VT-2		—			○	—				—			
		B高圧注入ポンプ及び電動機冷却海水放出用ホース	1.0	VT-2		—				—		○			—		
		窒素ポンプ(原子炉補機冷却水サージタンク加圧用)～ホース先端	0.34/17.16	VT-2		—				○					—		
		窒素ポンプ(原子炉補機冷却水サージタンク加圧用)窒素供給用 フレキシブルホース	0.34	VT-2		—				○					—		
		格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ吸水用フレキシ ブルホース	0.33	VT-2		—				—		○			—		
		格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ送水用フレキシ ブルホース	0.33	VT-2		—				—		○			—		
		格納容器水素ガス試料冷却器冷却水屋外排水用フレキシブルホース	0	VT-2		—				—					—	○	
		原子炉補機冷却水サージタンク非常用窒素供給ライン逃がし弁	吹出圧力 0.34	VT-2						○					—		
原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力	測定範囲 0～1.6	VT-2						○					—				

※: 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要がある(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙-8(4/5)

重大事故等クラス3機器漏えい検査

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 準拠		SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法 ※	大阪発電所 第4号機 検査計画(10力年)										備考	
		検査の対象箇所				2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回		
		設備名															
C7. 30 C7. 50	C-H	送水車(2台)		1. 6	VT-2		—			○	—			—			
		送水車吸水用ホース(24本)		0. 4	VT-2		—			○	—			—			
		送水車送水用ホース(138本)		1. 6	VT-2		—			○	—			—			
C7. 10 C7. 50	C-H	送水車燃料タンク(2基)		大気圧	VT-2		—			○	—			—			
C7. 10 C7. 30 C7. 50	C-H	可搬式代替低圧注水ポンプ(2台)		1. 55	VT-2		—				—			—	○		
		仮設組立式水槽(2台)		大気圧	VT-2		—				—			—	○		
		可搬式代替低圧注水ポンプ吸水用ホース(2本)		大気圧	VT-2		—				—			—	○		
		可搬式代替低圧注水ポンプ～可搬式代替低圧注水ポンプ出口接続口 (2台)		1. 55	VT-2		—							—	○		
		可搬式代替低圧注水ポンプ送水用ホース(6本)		1. 55	VT-2		—					—			—	○	
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	大容量ポンプ出口ライン送水用送水管(6台)		1. 2	VT-2		—							○	—		

※: 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要がある(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙-8(5/5)

重大事故等クラス3機器漏えい検査

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 準拠		検査の対象箇所 設備名	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法 ※	大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考
							2017年 第15回	2018年 第-回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第-回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第-回	2025年 第20回	2026年 第21回	
C7.30	C-H	大飯4号機スプレイヘッダー-A			1.6	VT-2		-			-			-	O		
		大飯4号機スプレイヘッダー-B			1.6	VT-2		-			-			-	O		

※: 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要があり(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

保 全 に 関 す る 実 施 体 制

保全に関する実施体制

1. 大飯発電所の保守管理体制

大飯発電所第4号機の第16保全サイクルにおける保守管理体制を下図に示す。

